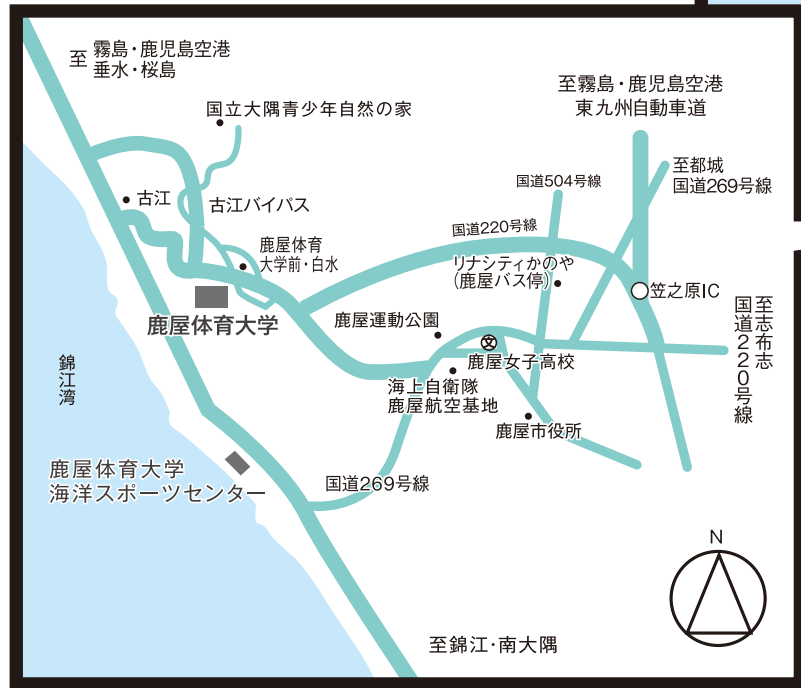
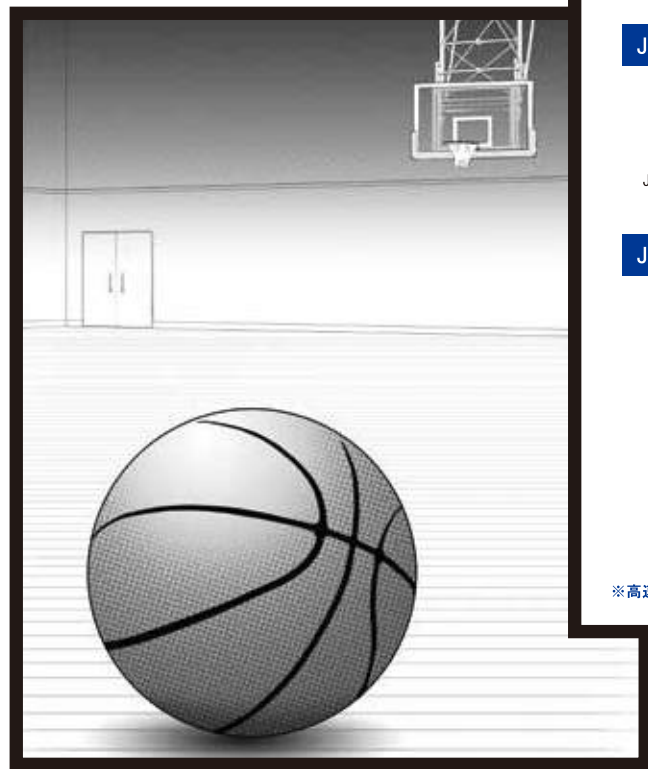




Twitter、Facebookで情報発信中！
<https://twitter.com/NIFSkouhou>
<https://www.facebook.com/NIFSkouhou/>



全国でただ一つの国立の4年制体育大学
国立大学法人 鹿屋体育大学

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地 TEL: 0994-46-4818 <https://www.nifs-k.ac.jp/>



twitter



facebook



公式マスコットキャラクター
パララン
再生紙を使用しています。

Kanooya

鹿屋体育大学 2019 大学案内

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地 TEL: 0994-46-4818 URL: <https://www.nifs-k.ac.jp/>

国立大学法人

鹿屋体育大学

2019 National Institute of Fitness and Sports

Kanooya



スポーツで未来を拓く自分を創る

国立大学法人 鹿屋体育大学



スポーツで 未来を拓く自分を創る

□ TOPICS	2
□ 体育学部	6
□ 在学生からのメッセージ	12
□ 大学院 体育学研究科	14
□ キャンパスカレンダー	15
□ 施設	16
□ 国際交流	22
□ 就職支援	24
□ 卒業生からのメッセージ	26
□ 課外活動	28
□ 学生宿舎	34
□ 学生生活	35
□ 福利厚生	36
□ 学費・経済支援・傷害保険	37
□ 入試情報	38
□ 地域貢献・社会連携	40

未来へ体育系創造派たちよ。

クリエイト、創造ということ。
その可能性をスポーツの分野でも
見出すことができる人。
その夢をめざし、アクションを起こす人。
そんな若者を、私たちは体育系創造派と呼びます。
自分らしい夢がいい。遠大な夢がいい。
輝くのは、追い続ける姿。
思い描く明日があるから、今日を疾走できる。
さあ、フィットネスとマインドが
調和したゴールをめざして。
南国、鹿児島からスタートの号砲が聴こえる。



鹿屋体育大学長

松下 雅雄

鹿屋体育大学では、全国でただ一つの国立の体育系大学という特性を十分に活かし、健全な身体と調和・共生の精神を併せ持つ人材の育成に必要不可欠なスポーツ・身体運動を通じて、創造性とバイタリティに富む有為の人材を輩出するとともに、体育・スポーツ科学分野における学術・文化の発展と国民の健康増進に貢献し、もって健全で明るく活力に満ちた社会の形成に寄与することを目的としております。

この目的を実現すべく、教育、研究、社会貢献及びグローバル化という観点から、社会の信頼に応えられるよう自己改革をしつつ、個性輝く大学を目指しております。

皆さんには、キャンパスの豊かな自然環境と充実した教育研究施設の中で、各自の設定した目標を達成するよう計画的に取り組み、これから社会に必要なリーダーとしての能力を備えていただきたいと思います。

学長からの メッセージ

1 日本版NCAA『KANOYAモデル』始動！ 地域密着スポーツブランド「Blue Winds」創設！

2017年3月、文部科学省は、国内の大学スポーツの関連団体を統括する「日本版NCAA」を2018年中に創設する方針を発表しました。スポーツ庁は、この「日本版NCAA」創設のため、全国の8大学（私立含む）に先進的モデル事業の企画及び展開を委託。本学も委託先大学に選ばれました。



平成29年度大学スポーツ振興の推進事業選定大学一覧

大学名	取り組みの具体例
青山学院大学	・青山オリジナル駅伝大会の実施 ・大学施設を拠点としたプロバスケットチームのホームアリーナ化のさらなる取組
大阪体育大学	・スポーツ局の開設とスポーツ振興事業の統括、大学間連携の推進 ・地域やスポーツ団体との連携による社会貢献型事業の推進
鹿屋体育大学	・スポーツアドミニストレーション部局の創設 ・鹿屋体育大学と地域共同によるスポーツ・健康ブランドの創設
順天堂大学	・順天堂スポーツ推進センター（仮称）の設置 ・バラスポーツ体験教室の実施やバラスポーツ用品の開発
筑波大学	・アスレチックデパートメントの設置 ・テンブル大学との協働によるスポーツアドミニストレーターの育成 ・外部資金調達に関する検討
日本体育大学	・日体大アスレチックデパートメントにおける運動部担当係の創設 ・マイナー競技のスポンサー獲得に向けた取組
立命館大学	・大学間の連携、大学横断的組織としての関西コンソーシアムの検討 ・スポーツ活動と学修活動の両面の高度化に資する取り組みの支援
早稲田大学	・学生アスリートの学業成績分析とWAP（※）検証・投資誘発戦略の検討 ・大学スポーツ・アドミニストレーター育成プログラムの開発 ※早稲田アスリートプログラム

■ では、日本版NCAAとは？

日本の大学スポーツは、学生の自主的な課外活動と位置付けられていて、大学との連携は取れていません。そのため、活動に必要な経済基盤は脆弱であり、活動費を捻出するために学生はアルバイトに時間を取られ学業そのものが疎かになる場合もあります。

■ そもそもNCAAって何のこと？

20世紀初め、アメリカの大学の学生スポーツは、学生の自主的な課外活動であり大学は全く関与していませんでした。あるとき、大学間のアメリカンフットボールの試合で負傷や死亡事故が多発。1905年、これを憂えた当時のセオドア・ルーズベルト大統領が大学スポーツ関係者に大学スポーツの改革を促してスタートしたのがNCAA（National Collegiate Athletic Association）の原型です。それから100年以上の歴史の中で、NCAAは競技規則の管理だけでなく、主催する競技大会の運営を専任スタッフで行うほど多様化していき、主催する試合の放映権を管理してその収益をチームや大学に還元する等、大きな経済効果を生むまでになってきました。

一方、学生に対し1週間の練習時間は20時間までとする、学業成績や卒業率がNCAAの規定ラインに到達しなければチームに対しペナルティを科す等、学生がスポーツと学業を両立するための環境の整備にも取り組んでいます。

そのほか、安全管理対策が十分ではない等、100年前のアメリカの状況と同じです。そこで、NCAAを参考に「する」「みる」「ささえる」をキーワードに大学スポーツの改革を進めるため、2017年に日本版NCAAの立ち上げに取り組み始めました。

■ 「KANOYAモデル」とは？？

日本版NCAAの立ち上げには、現在、国内の8つの国公立大学が取り組んでいます。鹿屋体育大学もその中のひとつとして学内に立ち上げたスポーツアドミニストレーション室（SA室）を中心に日本版NCAA「KANOYAモデル」の確立に取り組んでいます。「KANOYAモデル」では、鹿屋市を中心とした地域社会と連携して、学生スポーツの環境を改善するほか、地域のみなさんへ大学スポーツを通じた地域サービスやスポーツを「する・みる・ささえる」体験を提供することにより、地域の活性化につなげる文化モデルの確立を目指します。



『KANOYAモデル』2017年度の主な取り組み



九州大学サッカーリーグ 応援イベントを開催！

11月11日、本学サッカー場にて九州大学サッカーリーグ「鹿屋体育大学VS九州産業大学」の応援イベントが開催されました。当日は仮設観客席、飲食ブースを設置。先着1300名に無料配付された応援用のオリジナルTシャツは試合開始30分前には配付終了となり、サッカー場は多くの観客で賑わいました。ゴール前の攻防では観客席から歓声が上がるなど、多くの方に生での試合観戦を楽しんでいただきました。



国内初！国立大学施設での プロバスケットボール公式戦開催！

12月2日～3日、本学体育館でB3リーグ公式戦「鹿児島レブナイズvs東京サンレーヴス」が開催されました。国内初の国立大学施設でのプロバスケットボール公式戦となったこの試合、来場者へは九州大学サッカー応援イベントでも配布された青い応援Tシャツを無料配布。めまぐるしく走り回る選手のシュートやブロックが決まる度に、集まった観客からは大きな歓声と

拍手がわき起こるなど、会場は熱気に包まれました。また、1日目には鹿屋市PR特命係長のかのやカンパチロウらがカンパチダンスで会場を盛りあげてくれました。2日間とも観戦に来たという観客は、「昨日の観戦が楽しくて今日も来た。Tシャツを皆で着て応援したのも楽しかった」と語りました。

2018年3月には、「KANOYAモデル」の取組の一つとして、地域密着スポーツブランド名「Blue Winds」を創設。また、同年5月には市民参加型運動会「かのやエンジョイスports」を鹿屋市との共催で実施するなど、KANOYAモデルの確立へ向け、鹿屋体育大学では、地域と連携し様々な取り組みを行っています。今後の動きにぜひご注目ください！



サッカー部 松田さん ユニバーシアードで金メダル獲得！

サッカー部の松田天馬さん（スポーツ総合課程4年）が出場した第29回ユニバーシアード競技大会（2017年8月／台北）の男子サッカーにおいて、日本代表が見事金メダルを獲得しました。11日間で6試合をこなす過密日程の中、10番を背負う松田選手は5試合に出場（先発3、途中出場2）。中盤で存在感を見せ、チームの優勝に貢献しました。

松田さんは卒業後J1の湘南ベルマーレへ加入。2017年12月25日に行われた加入内定記者会見では、「自分の長所をいかしてチームに貢献し、一日も早くサポーターに愛される選手になりたい」とプロ入り後の抱負を語りました。※学年は大会出場時



2

3

体操競技部 国際大会で 連続の金メダル！

2017年9月8日～10日、ハンガリーのソンバトヘイで行われた体操の2017ハンガリー国際（FIGチャレンジカップ・ハンガリー大会）に日本代表として出場した前野風哉さん（スポーツ総合課程3年）が、ゆかで金メダル、あん馬と鉄棒で銀メダルを獲得しました。

また、杉野正亮さん（同1年）は、9月16日～17日、フランスのパリで行われた体操の2017フランス国際（FIGチャレンジカップ・フランス大会）、12月9日～10日、スカイホール豊田（愛知県）で行われた2017豊田国際体操競技大会の2大会で、あん馬で金メダルを獲得しました。

体操競技部は、チームとしても、11月25日～26日に行われた団体日本一を決める第71回全日本体操競技団体選手権大会で4位入賞を果たすなど、今後の更なる活躍が期待されます。※学年は大会出場時



杉野さん（左）と前野さん（右）

2017 TOP!CS

4

卒業生が 世界で活躍！

鍋島 莉奈さん 世界陸上出場！

2017年6月に行われた第101回日本陸上競技選手権大会において、陸上競技部OGの鍋島莉奈さん（2016年3月卒業、日本郵政グループ）が女子5000mで優勝。日本代表として同年8月にロンドンで行われた世界選手権に出場しました。世界選手権では決勝進出とはならなかったものの自己ベストとなる15分11秒83を記録する好走を見せました。



内瀬戸 真実さん グラチャンバレー出場！

2017年9月に行われたグラチャンバレー 2017にバレー部OGの内瀬戸真実さん（2014年3月卒業、ヘルマエア・オルビア（イタリア2部））が出場しました。ウィングスパイカーとして全5試合に出場、アメリカ戦ではチーム最多の17得点を挙げるなどの活躍を見せました。



©月刊バレーボール



2017年11月4日、読売ジャイアンツなどで活躍した桑田真澄氏らを招き、野球教室を開催。鹿児島県内の中学生61名が参加しました。

桑田氏はプレーの際に気をつける点などについて丁寧に指導。最後には桑田氏によるピッチングの実演も行われ、参加者からは「とても楽しかった」「野球のプレーだけでなく、挨拶や礼儀など普段の生活でも大切なことを学ぶことができた」などの声が聞かれました。

2020東京オリ・パラへ向けた 公開講座を開催！

鹿屋体育大学では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、オリンピック・パラリンピックの意義について考えること等を目的とした公開講座を実施しました。

2017年11月25日、ゴールボールの日本代表として3度のパラリンピックに出場し、2012年のロンドン大会で金メダルを獲得した安達阿記子選手（リーフラス（株）所属）を招き、ゴールボール体験教室&講演会を開催しました。

当日は地域の小中学生をはじめ約50名が参加。ゴールボールを体験した小学生は「音だけをたよりに動かなければならなくて、初めは不思議な感覚だったけど、最後は楽しかった」と満足の様子でした。



2018年3月25日～27日の3日間、高校生のための先進的科学技术体験合宿プログラム「スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学：スポーツ科学の最前線～From Gene to Gold～」が開催されました。

このプログラムは、スポーツ科学の最先端テクノロジーを紹介するとともに、パフォーマンスの向上に最先端科学が果たす役割について理解を深めてもらうこと、そしてスポーツ科学の研究成果が国民すべての健康の維持・増進

7

国際スポーツアカデミー第1回国際カンファレンスを開催！

2017年9月22日、鹿屋体育大学国際スポーツアカデミー（以下「NIFISA」）。詳細22ページ）第6回セミナーの一環として、「第1回国際カンファレンス」を開催しました。

カンファレンスには、NIFISAセミナー参加者、国内外から招聘した講師、発表者等59名の参加があり、招聘講師による基調講演等があった後、国内外からの発表者によるポスターセッションが行われました。

本学の特徴を活かしたセミナーの実施により、オリンピズムの普及と知的財産であるスポーツ科学の推進が期待されます。



2017年11月12日、東京2020応援プログラムシンポジウム「サッカーによるダイバーシティの推進くみんなプレーを楽しめる」を開催しました。

講師として松田薫二氏（日本サッカー協会グラスルーツ推進部長・日本障がい者サッカー連盟事務理事兼事務総長）、西眞一氏（知的障がい者サッカー日本代表監督・恰良市役所）、嶋将平氏（同代表コーチ・奈良県立高等養護学校教諭）を招き、多様な競技の場を提供することでスポーツ参加へのバリアーを取り除いているサッカーの取り組みから、障がい者スポーツの現状と魅力を知り、「みんながプレーを楽しめる」共生社会への参加について考えました。



スポーツサイエンス キャンプ in 鹿屋体育大学を開催

6

に対しても大きく貢献していることを理解してもらうことを目的としたものです。

プログラムでは、スポーツ科学分野における最先端研究についての講義や、ハイスピードカメラ等の機器を操作する実験等が行われました。

受講生からは、「科学を身近に感じることができ、将来について考えるきっかけとなった」「今回学んだことを今後の競技に活かしていきたい」「鹿屋体育大学へ入学し、スポーツ科学について学びたいという思いが強くなった」などの感想が聞かれ、非常に有意義な体験プログラムとなりました。





アドミッション・ポリシー

- 1.【体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生】
文系・理系に偏ることのない基礎学力とともに、自分の得意分野の実技能力をも身に付けている学生。
- 2.【自己表現ができる学生】
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ・武道および体育・健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生。
- 3.【新たな課題に挑む意欲のある学生】
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生。

カリキュラム・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で、市民性、国際性を備えたリーダーを養成するために、課程や学生の志向性に沿って、学年進行で1.専門性の深化と充実、2.社会人としての豊かな教養の涵養、3.将来を展望し、勤労観・職業観を醸成できるための教育課程を編成しています。

ディプロマ・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを養成するための知識・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を認定します。

「課程」と「系」

本学は、教育目標の達成に向け、体育学部にはスポーツ総合課程及び武道課程を設定し、各課程の中に3つの系（柔軟なコース）を編成し、それぞれの専門に向けた勉学ができるようにしています。

スポーツ総合課程

（定員：120名）

スポーツ総合課程の目標

スポーツ総合課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、競技スポーツ、生涯スポーツ、健康づくりに関する専門的能力を、理論と実践の往還を通じて修得することにより、バイタリティーを持ち、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

アスリート・コーチング系

トップレベルの競技力の向上、ジュニア期からトップレベルまでのコーチングを行うことのできる人材を養成するコース。

生涯スポーツ系

健康づくりのコーディネートやスポーツクラブ等の管理運営プログラム開発を行うことのできる人材を養成するコース。



武道課程

（定員：50名）

武道課程の目標

武道課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、我が国発祥の身体運動文化として伝承され、今日において競技文化としても広く認識されている武道、特に柔道・剣道における心と技を伝統的修練形式である稽古を通じて修得することにより、武道の精神と、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

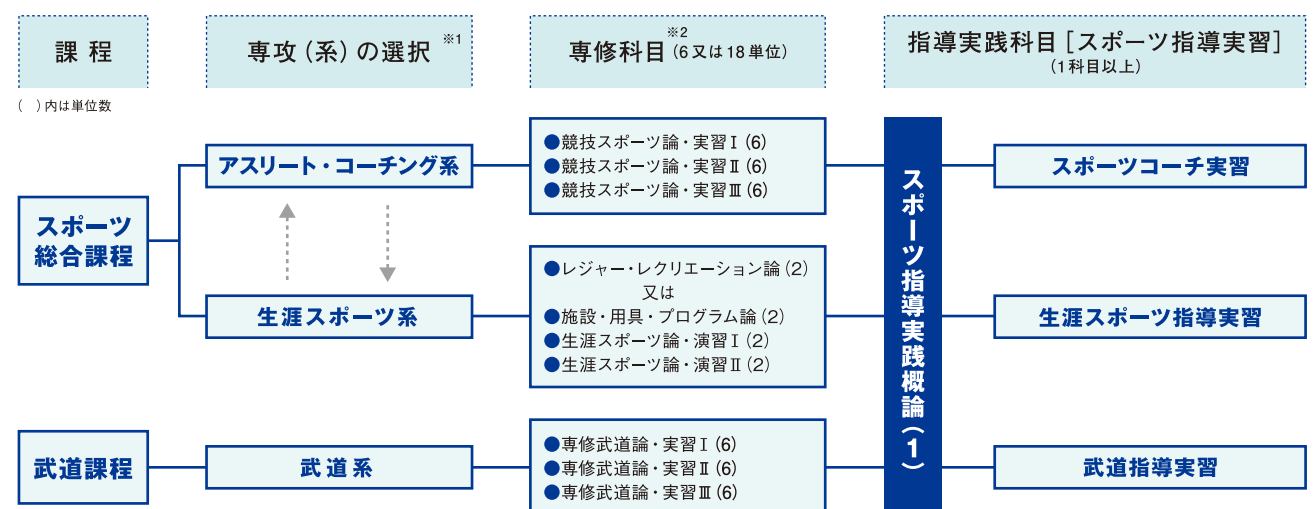
武道系

武道における「こころ」と「わざ」を伝統的修練形式により学び、武道の実技指導を行うことのできる人材を養成するコース。



専攻科目の系の選択

- ①スポーツ総合課程に所属する学生は、「アスリート・コーチング系」「生涯スポーツ系」より1系以上を選択し、履修します。
- ②武道課程に所属する学生は、「武道系」を履修します。



※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。
※2) 各系の必修科目を示しています。
(注) 選択した系以外で履修可能な他系を ----> で示しています。

教育課程の編成

授業科目は原則として学期完結型の科目（学期毎に単位が取れる科目）として設定しています。
ただし、一部の科目について、通年科目（1年間履修して単位がとれる科目）となっています。

一 般 科 目	社会の一員として適切に振る舞う態度と豊かな教養、コミュニケーション能力を身につける科目	4 年間の流れ			
		1年	2年	3年	4年
コミュニケーション科目	国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を涵養する科目				
社会・文化・自然科目	社会の一員として、人間、社会、文化自然及び環境に関する教養や態度を涵養する科目				
総合科目	社会の一員として、基礎的な情報リテラシー、表現的能力や討論力を身につける科目				
キャリア形成科目	スポーツリーダーとしての将来像と職業観・就業観及びキャリアデザイン力を醸成する科目				
キャリアデザイン科目	スポーツリーダーとしての将来像と勤労観・職業観を醸成する科目				
専門科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する専門的な知識、実技力、科学的支援力や表現的能力及び課題解決力を身につける科目				
基礎科目A（人文・社会・自然系）	体育学の基礎となる人文・社会及び自然系の分野の内容を理解する科目				
基礎科目B（指導・普及系）	スポーツ・武道及び体育・健康づくりについての指導や普及の基礎的な内容を理解する科目				
応用科目	国民各層のスポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導し、普及させるための専門的、応用的な内容を身につける科目				
実験演習科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な科学的支援力や表現的能力を身につける科目				
関連実技科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な実技力を身につける科目				
ゼミナール（卒業研究）	スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける関心のあるテーマについて、体育学の知識を総合的に活用し、課題設定、解決、説明する能力を身につける科目				
専攻科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して年齢、目的等に応じた体系的な実技能力や事業運営力を身につける科目				
専修科目 （アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して、年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や事業運営力を身につける科目				
指導実践科目 （アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）	専修科目等で身につけた体系的な実技指導力や事業運営力を実地的・実践的に活用し、深める科目				
教職科目	中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許状を取得するための専門（教科）及び教職に関する科目				
教 職	中学校や高等学校の教員としての免許を取得するための教職に関する科目				
専 門	中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許を取得するための専門（教科）に関する科目				

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける
実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダー

また、授業科目は、下表のように、履修（選択）の仕方により、「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」に分類されます。

区 分	科目区分の特徴（ねらい）
必修科目	単一の授業科目で、その修得が義務づけられている科目
選択科目	複数の授業科目のうちから指定する科目数又は単位数の修得が義務づけられている科目
自由科目	必修科目及び選択科目を除き、その修得を卒業認定の要件とされている科目

授業時間

1. 学期と授業時間割

学年を前期（4月1日～9月30日）と後期（10月1日～3月31日）に区分し、原則として学期ごとに授業科目の設定を行います。なお、授業は、原則として各学期とも15週（試験を課す場合は16週）にわたって行います。

	第1時限 （90分）	第2時限 （90分）	第3時限 （90分）	第4時限 （90分）	第5時限 （45分）
開始	8：30	10：10	12：40	14：20	16：00
終了	10：00	11：40	14：10	15：50	16：45

前期：4月1日～9月30日
後期：10月1日～3月31日

授業は、左表のとおり行います。
集中講義や学外授業などを行うことがあります。

2. 休業日

休業日（授業を行わない日）は次のとおりですが、休業日においても特別な場合には授業を行うことがあります。

- ① 週休日（土曜日・日曜日）及び国民の休日に関する法律に定める休日
- ② 開学記念日（10月1日）
- ③ 夏期休業日（8月3日～9月30日）冬期休業日（12月26日～1月7日）春期休業日（3月11日～3月31日）
- ④ その他大学が定めた日 注：休業日においても、特別な場合には講義を行うことがあります（集中講義等）。

3. 授業の方法

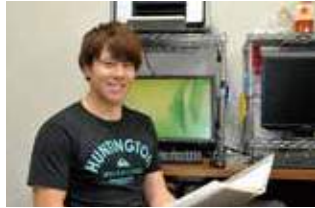
講義、演習、実験、実習もしくは実技又はこれらの組み合わせにより実施します。
※情報活用能力の育成等のため、タブレットコンピュータを必携としております。

ゼミナール

ゼミナールは、少人数の学生が指導教員の下で、お互いに質疑討論を交わし、学習成果を発表しながら専門研究領域における知識を深め、研究方法を履修していく授業形態です。3,4年次の必修科目で、各指導教員により実施されます。ここでは、数あるゼミの中から3つを紹介します。

スポーツ・武道実践科学系 | 中村 夏実ゼミ | 静寂の湖面と碧い海原でスポーツを科学しよう！

RowingとCanoe Sprintの競技力(艇速度)の向上を目指した、実践研究を行っています。主な研究テーマは、刻一刻と状況が変化する水上環境において、競技力に影響する要因の評価方法を検討すること、欧米諸国の大柄な選手と互角に競うための持久力とパワーの両者を高めるトレーニング方を構築することです。また、こどもから高齢者にわたる広い世代を対象として、水辺活動・海洋スポーツ活動による心身のリフレッシュ効果、持久力や筋力、バランス能力や防衛体力に及ぼす影響について、実践研究による知見を蓄積することも課題です。



柚野 秀斗さん (大分県立大分舞鶴高等学校)

私が中村先生のゼミを選んだ理由は、専門科目であるカヌースプリントの競技力向上に繋がる研究をしてみたいと思ったこと、また、この分野において知識が豊富であり信頼できる先生の下で、専門的に学びたいと思ったことが大きいです。充実した設備を持つ鹿屋体育大学での研究を、自分の競技力に繋げるだけでなく、チームに共有したり、他の種目に繋げたり、将来指導者になった時にも薦められるような、研究をしたいです。



スポーツ生命科学系 | 前田 明ゼミ | 自分らしくPositive Try！



スポーツバイオメカニクス、スポーツパフォーマンス研究を進めていく研究室です。光学式モーションキャプチャシステム、ハイスピードカメラ、フォースプレート、球質判断装置(トラックマン)など本学のスポーツパフォーマンス研究センターにある機器を使って学生自身が分析できるように積極的に活用しています。またどの分野に就職しても活用できる、パワーポイントを用いたプレゼンテーション法にも力を入れています。いろいろな競技を体験しているいろいろな学生が集まって楽しく和やかに進めています。

田中 光さん (大阪府立北千里高等学校)

私がこのゼミを選んだ理由はスポーツの実際の現場に直結する知識、方法などを学べると感じたためです。ゼミでは私の専門種目で、マイナースポーツと言われているセバタクロウの動作分析を行っています。それを、将来公表していくことで現場での指導者のサポートや、競技そのものの普及にもつなげようと考えています。あまり研究されていない競技のため大変なことはありますが、他の競技にはない動きを分析することは非常にやりがいがあり、そこでの新たな発見は他の競技の研究にも役立つと考えています。



スポーツ人文・応用社会科学系 | 隅野 美砂輝ゼミ | スポーツファンを科学し、マネジメントするゼミ！

当ゼミでは主にみるスポーツを対象に研究しています。みるスポーツでは、多くのファンを集め、見に来てもらったファンに満足してもらうことが重要です。担当教員がJリーグからスタジアム観戦者調査の研究を受託していることもあり、ゼミ学生でそれらのデータ収集や分析を分担して行ったりもしています。またプロスポーツのプロモーションに関する専門書を講読したり、実際に本学で行われる大学スポーツの試合のプロモーションやアトラクション等を企画運営したり、スポーツファンを科学し、マネジメントを行うような様々な活動を行っています。



宇都宮 光さん (私立東九州龍谷高等学校)

このゼミを選んだ理由は、ゼミでJリーグなどのマーケティング調査プロジェクトを行っていることを知り、地方の大学でも社会に密着した研究が行えると思ったからです。私は現在、体育・スポーツ、武道専門の大学である本学が鹿屋市市民からどのようなところで必要とされているかなどといった地方大学ならではの地域と密着した研究をしています。将来は、保健体育の教員を目指しているので生徒や保護者、地域住民と学校との関わり合いを大切に行える教員になれるよう、このゼミで学んでいることを生かしていきたいと思っています。



開設科目

一般科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次
コミュニケーション科目	英語Ⅰ	1		日本事情※	1	総合科目	環境論	1
	英語Ⅱ	2		現代日本事情※	2		総合演習A	3
	上級英語	3		各国文化研究	1～4		総合演習B	2
	英語コミュニケーションⅠ	1		倫理・哲学	1		総合演習C	3
	英語コミュニケーションⅡ	2	社会・文化・自然科目	人権論	1		総合演習D	2
	上級英語コミュニケーション	3		ジェンダー論	1		総合演習E	2
	中国語	3		歴史学	2		情報処理A	1
	韓国語	3		社会学	2		情報処理B	2
	国語・文章表現法	1		日本国憲法	1		情報処理C	2
	ドイツ語	3		日本文化論	1		プレゼンテーション・討論Ⅰ	2
	フランス語	3		異文化理解	3		プレゼンテーション・討論Ⅱ	3
	留学生のための英語※	1		国際関係論	4		交流リベラルアーツ	1～4
	日本語演習Ⅰ※	1		生物化学論	1			
	日本語演習Ⅱ※	2		身体科学論	1			

キャリア形成科目

科目	キャリアデザイン	履修年次	科目	キャリアデザイン	履修年次	科目	キャリアデザイン	履修年次
キャリアデザイン	キャリアデザインⅠ	1	キャリアデザイン	キャリアコミュニケーション	3	キャリアデザイン	キャリア対策セミナー(一般企業)	3
	キャリアデザインⅡ	1		企業実習(1週)	2～3		キャリア対策セミナー(公務員)	3
	キャリアデザインⅢ	2		企業実習(2週)	2～3		ボランティア活動	1～4
	キャリアセミナー	3		キャリア対策セミナー(教員)	3			

専門科目

基礎科目	A	解剖生理学	1	応用科目	スポーツ産業論	2	関連実技科目	サッカー	1
		体育・スポーツ哲学と倫理	1		スポーツ老年学	2		ラグビー	2
		体育・スポーツ史	1		スポーツ文化論	2		水泳	3
		健康教育学	1		スポーツトレーニング実践論	3		器械運動	3
		運動生理学	1		体育・スポーツ行政学	3		ダンス	3, 4
		スポーツ栄養学	1		武道文化論	3		バレーボール	3
		スポーツ社会学	2		身体発育発達論	3		柔道	1
		スポーツ経営・管理学概論	2		スポーツ戦術実践論	3		剣道	1
		生涯スポーツ学概論	2		社会調査論	3		エアロビックダンス	1
		スポーツ心理学	1		スポーツ運営論	3		ジョギング&ウォーキング	2
		バイオメカニクス	2		体育・スポーツ統計学	3		生涯スポーツ・レクリエーション&ゲームズ	1
		衛生学・公衆衛生学	2		スポーツマーケティング論	3		テニス	2
		スポーツ医学	3		運動処方論	3		夏季山岳レジャースポーツ実習	2
		応用科目	B		救急処置論・実習	2		応用スポーツ心理学	3
トレーニング科学概論	2			イベント管理学概論	3	海洋スポーツ	2		
スポーツカウンセリング論	2			ヘルスプロモーション論・実習	4	卓球	3		
運動学概論	2			救急法実習	1～4	バドミントン	3		
学校保健	2			実験演習科目	体育学実験Ⅰ(運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学)	1	ソフトボール	2	
スポーツと法	3				体育学実験Ⅱ(運動生理学)	2	ゴルフ	4	
コーチ学概論	2				体育学実験Ⅱ(バイオメカニクス)		なぎなた	2	
障がい者スポーツ論	3				体育学実験Ⅱ(スポーツ心理学)		相撲	2	
武道学概論	1			体育学実験Ⅱ(衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学)	弓道		2, 4		
マッサージ・テーピング論・実習	3			実技科目	体育学実験Ⅱ(スポーツ心理学)	2	野外活動	2	
生涯スポーツ実践論	3				体育学実験Ⅱ(衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学)		体力トレーニング	2	
武道史	2				陸上競技		3	ゼミナールⅠ	2
運動生化学	2				体操(体つくり運動を含む)		1	ゼミナールⅡ	3
アスレチックリハビリテーション論	2				バスケットボール		1	ゼミナールⅢ	4
アスレチックリハビリテーション実習	3				卒業研究		4		

専攻科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次
専修科目	アスリート・コーチング系	陸上競技	1～4	専修科目	生涯スポーツ系	海洋スポーツ	1～4	専修科目	武道系	コミュニティスポーツ	3
		水泳	1～4			自転車競技	1～4			健康・体力	3
		体操競技	1～4			レジャー・レクリエーション論	2			野外教育	3
		スポーツ論・実習	1～4			施設・用具・プログラム論	2			柔道	1～4
		バレーボール	1～4			コミュニティスポーツ	3			剣道	1～4
		バスケットボール	1～4			健康・体力	3				
		サッカー	1～4			野外教育	3				
		テニス	1～4								
専修科目	アスリート・コーチング系	陸上競技	1～4	専修科目	武道系	海洋スポーツ	1～4	専修科目	武道系	コミュニティスポーツ	3
		水泳	1～4			自転車競技	1～4			健康・体力	3
		体操競技	1～4			レジャー・レクリエーション論	2			野外教育	3
		スポーツ論・実習	1～4			施設・用具・プログラム論	2			柔道	1～4
		バレーボール	1～4			コミュニティスポーツ	3			剣道	1～4
		バスケットボール	1～4			健康・体力	3				
		サッカー	1～4			野外教育	3				
		テニス	1～4								
専修科目	アスリート・コーチング系	陸上競技	1～4	専修科目	武道系	海洋スポーツ	1～4	専修科目	武道系	コミュニティスポーツ	3
		水泳	1～4			自転車競技	1～4			健康・体力	3
		体操競技	1～4			レジャー・レクリエーション論	2			野外教育	3
		スポーツ論・実習	1～4			施設・用具・プログラム論	2			柔道	1～4
		バレーボール	1～4			コミュニティスポーツ	3			剣道	1～4
		バスケットボール	1～4			健康・体力	3				
		サッカー	1～4			野外教育	3				
		テニス	1～4								
専修科目	アスリート・コーチング系	陸上競技	1～4	専修科目	武道系	海洋スポーツ	1～4	専修科目	武道系	コミュニティスポーツ	3
		水泳	1～4			自転車競技	1～4			健康・体力	3
		体操競技	1～4			レジャー・レクリエーション論	2			野外教育	3
		スポーツ論・実習	1～4			施設・用具・プログラム論	2			柔道	1～4
		バレーボール	1～4			コミュニティスポーツ	3			剣道	1～4
		バスケットボール	1～4			健康・体力	3				
		サッカー	1～4			野外教育	3				
		テニス	1～4								
専修科目	アスリート・コーチング系	陸上競技	1～4	専修科目	武道系	海洋スポーツ	1～4	専修科目	武道系	コミュニティスポーツ	3
		水泳	1～4			自転車競技	1～4			健康・体力	3
		体操競技	1～4			レジャー・レクリエーション論	2			野外教育	3
		スポーツ論・実習	1～4			施設・用具・プログラム論	2			柔道	1～4
		バレーボール	1～4			コミュニティスポーツ	3			剣道	1～4
		バスケットボール	1～4			健康・体力	3				
		サッカー	1～4			野外教育	3				
		テニス	1～4								
専修科目	アスリート・コーチング系	陸上競技	1～4	専修科目	武道系	海洋スポーツ	1～4	専修科目	武道系	コミュニティスポーツ	3
		水泳	1～4			自転車競技	1～4			健康・体力	3
		体操競技	1～4			レジャー・レクリエーション論	2			野外教育	3
		スポーツ論・実習	1～4			施設・用具・プログラム論	2			柔道	1～4
		バレーボール	1～4			コミュニティスポーツ	3			剣道	1～4
		バスケットボール	1～4			健康・体力	3				
		サッカー	1～4			野外教育	3				
		テニス	1～4								
専修科目	アスリート・コーチング系	陸上競技	1～4	専修科目	武道系	海洋スポーツ	1～4	専修科目	武道系	コミュニティスポーツ	3
		水泳	1～4			自転車競技	1～4			健康・体力	3
		体操競技	1～4			レジャー・レクリエーション論	2			野外教育	

MESSAGES FROM STUDENTS

在学生からのメッセージ

National Institute of Fitness and Sports 2018

夢を追うなら最高の環境で！

私は鹿屋体育大学の充実した環境と指導者の剣道に対する熱意に惹かれ入学を決意しました。入部した剣道部では、日々、日本一になることを意識して最高の仲間と共に稽古に励み、昨年のインカレで個人優勝することができました。

また、本学では、自分の専門種目はもとよりコンディショニングや栄養に関する事など、競技を続けていく上でとても大切なことを学ぶことが出来ます。さらに実に多くのスポーツや武道の実技と理論を体験することが出来ます。このように、競技力向上を目指しつつも体育学全般についての知識と技能を身につけられる最高の人材と環境が揃っています。皆さんも鹿屋体育大学で夢を追いかけてませんか？

私の時間割＜2年前期＞

	月	火	水	木	金
1限	運動生化学	スポーツ社会学	スポーツ経営・管理学概論	武道史	
2限			保健体育科教育法Ⅰ	衛生学・公衆衛生学	生涯スポーツ学概論
3限	ソフトボール	英語コミュニケーションⅡ(基礎)			専修武道論・実習Ⅱ・剣道
4限	救急処置論・実習		スポーツカウンセリング論	総合演習E	
5限					

■武道課程4年 ■平成27年度入学(AO入試) ■長崎県立島原高等学校

牧島 凜太郎

Makishima Rintaro



スポーツと共に生きる

私は、専門学校で得た知識と経験を更に深める為に、鹿屋体育大学に編入学しました。

現在は、鹿屋体育大学の優れた研究施設を利用し、トレーニングとパフォーマンスの関係性を検証する事で、科学的根拠に基づいた指導を展開すべく学習を深めています。また、硬式野球部のトレーナーとして、選手のパフォーマンス向上に努め、ベストなコンディションでプレーが出来るようにサポートしています。

鹿屋体育大学は、全国からトップアスリートが集結し、互いに切磋琢磨しながら学生生活を送っています。アスリートを支える立場であるトレーナーにとって、これほど刺激的な場所はありません。

スポーツ愛に溢れ、スポーツと共に成長できる鹿屋体育大学は、皆さんの夢を叶える第一歩となるでしょう。皆さんの熱い情熱がここ鹿屋の地に集結する事を楽しみにしています！

私の時間割＜3年前期＞

	月	火	水	木	金
1限	教育史	生徒指導論	体育・スポーツ哲学と倫理	教育課程論	バイオメカニクス
2限	保健体育科教育法Ⅲ	解剖生理学	保健体育科教育法Ⅰ	衛生学・公衆衛生学	情報処理A
3限		卓球	身体科学論	ラグビー	
4限	救急処置論・実習		スポーツカウンセリング論		
5限					
集中講義 介護等体験、ゼミナールⅡ					

■スポーツ総合課程4年 ■平成29年度入学(第3年次編入) ■京都府立工業高等学校→京都医健専門学校 ■(公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー

余田 雄飛

Yoden Yuhii



夢を叶える場所

「将来、保健体育の先生になりたい!」「スポーツや体育好きを増やすような指導者になりたい!」この2つの夢に挑戦し、叶えるチャンスを与えてくれる場所が鹿屋体育大学でした。

現在は体育会会長として、蒼天祭(学園祭)等の行事の企画・立案や課外活動団体のとりまとめなどを行いながら、大学の勉強に励んでいます。暖かい気候、充実した施設、たくさんの知識や経験を持つ先生方、そして、高い志を持つ友人に囲まれて送る大学生活は、毎日とても刺激的で、自分を大きく成長させてくれる場所であると感じています。

大学4年間は夢だらけです。鹿屋体育大学であなたの夢を叶えてみませんか？

私の時間割＜2年後期＞

	月	火	水	木	金
1限	道德教育の研究		保健体育科教育法Ⅱ		アスレチックリハビリテーション論
2限	教育心理学		学校保健	トレーニング科学概論	
3限	体力トレーニング	英語Ⅱ(初級)	運動学概論(1・8週) コーチ学概論(9・16週)		競技スポーツ論・実習Ⅱ・海洋スポーツ
4限	教育方法・技術			特別活動論(1・8週)	
5限					
集中講義 ゼミナールⅠ					

■スポーツ総合課程3年 ■平成28年度入学(一般入試) ■静岡県立沼津東高等学校

充実した環境の中で

鹿屋体育大学は、環境面、施設面共に、とても充実していることから、この大学なら競技力を必ず向上できると思い入学を決めました。

この想いを形にするために努力を重ね、1年目から日本の代表選手に入り、国際大会にも出場できる選手になりました。更に、国際大会無敗の記録を保持することでもできました。

競技に対する想いが強ければ強いほど、その結果を形にすることが可能となり、鹿屋体育大学はその想いを受け止めてくれます。皆さんも夢に向かって頑張りましょう！

私の時間割＜1年前期＞

	月	火	水	木	金
1限			体育・スポーツ哲学と倫理	体育・スポーツ史	
2限	英語Ⅰ(基礎)	解剖生理学	生物化学論	キャリアデザインⅠ	
3限	情報処理A	サッカー	身体科学論		競技スポーツ論・実習Ⅰ・体操競技
4限	柔道		健康教育学		
5限					
集中講義 倫理・哲学、日本文化論					

■スポーツ総合課程2年 ■平成29年度入学(推薦入試) ■福井県立鯖江高等学校

杉野 正堯

Sugino Takaki



後藤 菜月

Goto Natsumi



大学院体育学研究科（体育学専攻）の目的

鹿屋体育大学大学院体育学研究科（体育学専攻）は、スポーツ・健康に関する学術の理論及び応用と実践が一体となった教育研究を展開し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した学力を培い、スポーツ文化の進展及び国民の健康増進に寄与することを目的としています。

多様な教育プログラム

さまざまなニーズに対応した多様な教育プログラムのもと、多様な人材の入学をお待ちしております。

東京サテライトキャンパス 社会人コース

（修士課程、博士後期課程）

各競技においてトップレベルのコーチやアスリートとして活躍している人や体育系の教員らが、その技術に関する実践的指導能力と高度な科学的研究能力を東京に在住しながら修得できるようにすることを目的として、社会人コースを夜間に開設しています。



鹿屋体育大学



国立スポーツ科学センター（JISS） との連携大学院（博士後期課程）



国立スポーツ科学センターを主な勉学場として、同センターの特色を生かした授業科目の履修及び研究指導を受け、鹿屋体育大学大学院の博士（体育学）の学位取得を目指すものです。

筑波大学との共同専攻

スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程）

スポーツというツールを用いて、国内外で生じている課題の解決に貢献できる人材の育成を目指す修士課程です。本学と筑波大学・日本スポーツ振興センターの3機関が共同して、スポーツを通じた国際開発と平和に関する実践的能力を養う教育プログラムを提供します。

JAPAN SPORT COUNCIL

体育学・スポーツ科学 連携大学院教育プログラム（博士後期課程）

本学大学院体育学研究科（博士後期課程）を中心として、体育系の修士課程を有する熊本大学と鹿児島大学、宮崎大学の大学院教育学研究科とが連携・協力して、鹿屋体育大学大学院の博士（体育学）の学位修得を目指すプログラムです。



大学体育スポーツ高度化 共同専攻（3年制博士課程）

大学体育スポーツの充実のために、教育指導と研究の循環を高度に展開できる能力育成を軸とした教育指向型の博士課程です。本学と筑波大学とが共同設置しており、一部の科目を除き、遠隔講義システムを利用して、それぞれの大学で開講する授業を受講することができます。

大学院生からのメッセージ

恵まれた環境でスポーツ界に貢献を

私は学部時代から運動生理学に興味があり、より効果的に競技パフォーマンスを向上させることのできるトレーニングに関する研究をしていました。より深い研究を行いたいと思い、そのまま本学の大学院に進学しました。

本学は、スポーツ科学に特化した、多種多様な実験機材があり、非常に恵まれた環境にあります。また、競技力の高い現役アスリートも多く在籍しており、より現場に近い研究が行えます。

この素晴らしい環境の中で、東京オリンピックに少しでも貢献できるように、日々努力を続けています。

大和谷 健太

Yamatoya Kenta

- 大学院体育学研究科
体育学専攻（修士課程）
- 私立西大和学園高等学校出身



CAMPUS CALENDAR

National Institute of Fitness and Sports 2018

キャンパスカレンダー

※各行事の時期は年度によって変わることがあります。

前期	4	●新入生オリエンテーション ●入学式 ●新入生歓迎会 ●前期授業開始 ●新入生合宿研修 ●競技力向上の会
	5	●体育会定例総会 ●大学説明会 （東京サテライトキャンパス）
	6	●大学説明会 （東京サテライトキャンパス）
	7	●大学説明会・体験授業 ●学期末試験 ●交通安全等講習会
	8	●かのや夏祭り参加 ●大学説明会 （東京サテライトキャンパス） ●第3年次編入学試験
後期	9	●大学院共同専攻入試 ●国際スポーツアカデミー
	10	●開学記念日 ●後期授業開始 ●AO(SS)入試第2次選考 ●大学説明会 ●大学院体育学専攻入学試験
	11	●大学説明会（東京サテライトキャンパス） ●健康セミナー ●推薦入試及び特別入試 ●学園祭「蒼天祭」
	12	
	1	●大学入試センター試験 ●大学説明会 （東京サテライトキャンパス）
	2	●学期末試験 ●競技成績報告会 ●学生リーダーズセミナー ●一般入試・私費外国人留学生入試 ●体育会定例総会
	3	●卒業証書授与式、学位記授与式 ●大学説明会 （東京サテライトキャンパス）

4 新入生歓迎会

鹿屋の地に早く慣れ親しんでもらうことを目的に、入学式後に地元鹿屋市の皆さんによる新入生歓迎会が開催されます。歓迎会では、かんぱちや黒牛、黒豚などの地元の特産品を用いた料理が振る舞われるほか、様々な歓迎イベントが行われます。



8 かのや夏祭り参加

地元鹿屋市の「かのや夏祭り」（かのや夏祭り実行委員会主催）に、学生、教職員で踊り連を結成し、参加しています。普段ご支援いただいている地元の皆さんと一緒に祭りを楽しんでいます。



11 学園祭「蒼天祭」

蒼天祭では、模擬店のほか、本学名物のマッスルコンテストや豪華景品が当たるビンゴ大会、ゲストによるお笑いライブなど毎年趣向を凝らしたイベントが行われ、学外から多くの方が来場されます。また、スポーツパフォーマンス研究センター（詳細19頁）の見学・体験や研究成果等のパネル展示も行われ、本学の教育・研究に触れていただく場にもなっています。



3 卒業論文発表会

学部生は卒業論文が必修となっており、4年の後期に、指導教員のもと研究してきた成果の発表を行います。発表会では教員や学生と質疑応答が交わされます。





① 陸上競技場

全天候型の400mトラックで競技会ができる3種公認競技場です。



② サッカー場・ラグビー場

公式競技用としての広さを有し、サッカー場・ラグビー場それぞれ全面天然芝張で照明設備も設置されています。



③ テニスコート

ハードコート、オムニコートがあり、照明設備も設置されています。



④ 野球場

両翼92m、中堅117mあり、スコアボードは本部席から操作できるように判定表示装置が設置されています。



⑤ トレーニング場

主に屋外競技用のトレーニング施設で、科学的トレーニングを行うための各種ウエイトトレーニング機器等が設置されています。



⑥ 球技体育館

室内競技専用の体育館で、バレーボール(バスケットボール)、バドミントン、卓球の専用室があります。



⑦ ゴルフ練習場

南側の丘陵斜面に設置され、打席数は11、フェアウェイは130m×38mの広さです。



⑧ 屋内実験プール

泳ぎについて科学的に教育研究活動が行えるように最新鋭の設備機器と50m長水路、25mの短水路のコースを備えた日本で唯一の実験プールです。(詳細は18頁)



学生宿舎 (34頁参照)

CAMPUS AND FACILITIES

National Institute of Fitness and Sports 2018

施設

トップクラスの 充実環境

携帯から施設のページにアクセス!!

<https://www.nifs-k.ac.jp/outline/facilities.html>



⑨ 総合体育館

総合体育館は各種公式競技に対応できるよう設計されており、主体育室は球技用としてバスケットボール2面、バレーボール2面、テニス2面、ハンドボール2面、バドミントン8面の競技が可能なスペースを確保でき、また、450名収容可能な移動観覧席が2か所に設置されています。その他、体操練習室、ダンス練習室、トレーニング室があります。



⑨ 体操練習室

体操練習室には、鉄棒、跳馬、あん馬、つり輪、ゆか、平均台、平行棒等の体操競技に必要な器具・設備が設置され、公式競技も可能となっています。



⑩ 武道館

武道の継承、振興及び競技力の向上を目指す本学武道課程の中心施設です。(詳細は18頁)



⑪ スポーツパフォーマンス研究センター

本学が推進するスポーツパフォーマンス研究の拠点施設です。(詳細は19頁)



⑫ 合宿研修所

本学学生の合宿研修及び本学の主催する講習会・研修会等に参加する外来者の合宿研修に使用する施設で、講師宿泊室5室、洋室(ベッド数8)9室、和室(15畳、6名収容)6室、があり、計113名が宿泊可能です。その他に、研修室(50名、20名)を2室設置しています。

CAMPUS AND FACILITIES

National Institute of Fitness and Sports 2018



屋内実験プール

単に水泳競技用を使用するだけでなく、「泳ぎ」について運動力学、運動生理学的見地から科学的に教育研究活動が行えるよう最新鋭の機器を備えた施設です。1階は、水泳、シンクロナイズドスイミング、高飛び込み競技や50m長水路のプール(8コース)、25m短水路のプール(8コース)のほか、実験研究用コース(3コース:ミラー、ペースメーカー等の実験用器材を設置)、飛び込み台(5m、3m、1m)、可動式床(水深0m～2m調整可)、水泳フォームをあらゆる角度から分析できる加減圧調整可能流水プール、データ解析室等の設備を備えています。また、2階はミーティングルームのほか、上部からもビデオ撮影及び見学ができるキャットウォークも設置されています。なお、水温は常時27℃に調整され、薬剤注入や滅菌が自動的にできる循環濾過装置も設置されています。



柔道場



剣道場

武道館

武道の継承、振興及び競技力の向上を目指す本学武道課程の中心施設。1階に柔道場と相撲場、2階に剣道場、武道館に隣接して弓道場があります。

- **柔道場** 公式競技が同時に2面可能な342畳敷の柔道場、さらにサブ道場(136畳敷、ウェイトトレーニング用機器常置)も設置されています。
- **剣道場** 公式競技が2面可能な剣道場及びサブ剣道場があり、床は松材です。
- **相撲場** 武道館1階に設置されています。
- **弓道場** 武道館に隣接しており、6人立ちが可能となっています。



相撲場



弓道場



スポーツパフォーマンス研究センター

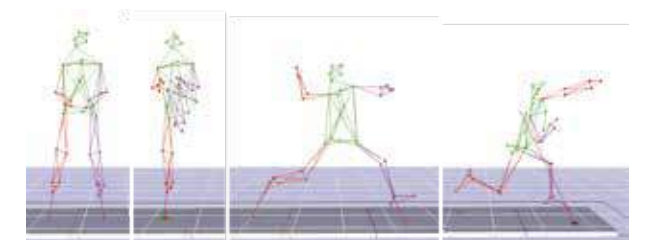
平成27年3月に設置されたスポーツパフォーマンス研究棟は、平成30年4月にスポーツパフォーマンス研究センターとして組織されました。本センターは国内初となるスポーツ分野のコーチングに特化したパフォーマンス研究の科学的検証を行う最先端研究設備を備えた学内共同教育研究施設です。本センターには、世界最長50mのフォースプレート(注1)、投打マルチ解析システム(注2)、モーションキャプチャシステム(注3)、オブジェクトトラッキングシステム(注4)等の最新の測定機器が設置されており、陸上、テニスなどの個人種目に限らず、野球やサッカーなどのチーム種目における身体活動量測定やゲーム分析をはじめとする多様なスポーツパフォーマンス測定を屋内で実施することができます。測定室となる測定アリーナは、面積約3,500㎡、有効高さ15mで、床面は屋外球技用の人工芝と、陸上用のウレタン走路とで構成されています。



(注1) フォースプレート：
①1mサイズのフォースプレートを直線上に50枚並べたシステム
②走行直線に50枚のフォースプレートを設置
歩行や走行など動作をする際にかかる力量を測定できる機器



(注2) 投打マルチ解析システム：フォースプレート完備のピッチャーマウンド・バッターボックスで、ピッチャーとバッターの同時測定が可能(写真はマウンド)



(注3) モーションキャプチャシステム：
反射マーカークの三次元位置情報をデジタルデータとして取得できる機器



(注4) オブジェクトトラッキングシステム：選手に装着したセンサーから座標位置、移動速度、身体の向き、心拍数などの情報を無線方式でかつリアルタイムに測定可能な機器



多彩に広がるスポーツ環境

海洋スポーツセンター Center for Water Sports and Sciences

海洋スポーツに関する理論教育・実技指導及び研究活動を行うほか、広く海洋スポーツに関する研修会・講習会の開催、課外活動等にも活用し、実践的指導者の養成、競技力の向上及び生涯スポーツとしての底辺拡大を目指しています。

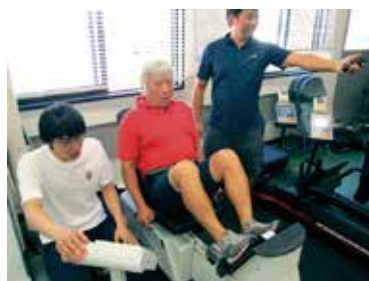
また、海洋スポーツを通じた諸外国の指導者や競技者との国際交流に資することも目的としています。



スポーツトレーニング教育研究センター Center of Sports Training Research and Education

高度な測定機器やトレーニング機器を本センターに集中的に配置し、学内共同利用施設として、教員はもとより学部生や大学院生が自由に施設を活用して、トレーニングの研究や実践を行う場を提供しています。また、各種のトレーニングの意義や効果を科学的に分析・評価するために、様々な研究プロジェクトも行われています。

たとえば、発育・発達段階に応じた一般児童生徒の体力づくりや、ジュニアアスリートのトレーニングの新たな方法を開発するために、地域の小・中・高等学校と連携して体力測定を行い、そのデータに基づいたトレーニングを長期的な視点で行っています。また、様々なスポーツ種目に携わる本学の選手や国内の一流選手を対象として、同様の研究も行っています。これらの研究成果を講習会、学術誌、広報誌などを通じて、学内外に情報発信しています。



生涯スポーツ実践センター Interdisciplinary Research Center for Lifelong Sport and Physical Activity

生涯スポーツに関する実践指導と学際的な研究・教育を広く社会との連携を図りながら行うことを目的としています。

主に、人々の各ライフステージに応じた運動・スポーツプログラムの開発・指導、地域のスポーツ振興や健康づくり、地域スポーツプログラムの育成支援、生涯スポーツ指導者の育成支援、運動・スポーツプログラムの地域社会への効果の測定などに関する教育研究を行っています。



スポーツ情報センター Information Technology Center for Sports Sciences

情報通信技術を用いた教育と研究を支援するとともに、情報の発信を通じて体育・スポーツの進展に寄与することを目的としています。

各種のネットワークサービスをはじめ、三次元動作分析装置や高速度カメラなどスポーツ科学の実験設備を利用者に提供しています。情報処理演習室は平日22時まで開室しており、研究情報の収集やレポート作成など、連日多くの学生に利用されています。



■改修したLL2教室説明会にて

国際交流センター International Exchange and Language Education Center

グローバルに活躍し得る人材養成を目的に、LL教室、多目的コミュニケーション教室や多読用図書を活用し、外国語教育（英語、ドイツ語、中国語、韓国語、留学生対象の日本語）や異文化理解に関する教育研究を行っています。

また、学生や教職員の外国語の学習・研究のための利用や大学間交流協定校からの留学生の受け入れ及び本学学生の派遣等国際交流事業を推進するとともに、公開講座なども開講しています。

附属図書館 Library

附属図書館では、教育研究活動に必要な専門図書や一般教養図書のほか、体育・スポーツ、レクリエーションや武道分野の雑誌、映像資料等DVDも数多く所蔵しています。電子ジャーナル、英文多読に最適な電子図書も利用できます。また、グループ学習室もありタブレットPCを使ったグループディスカッションなど学生の自学自修の場としても活用されます。



■附属図書館ホームページ <http://www.lib.nifs-k.ac.jp>



東京サテライトキャンパス Tokyo Satellite Campus

鹿屋体育大学の首都圏での教育研究の振興及び社会との連携等の拠点としての役割を担っています。

具体的には、大学院の講義や公開講座、大学説明会等が行われているほか、筑波大学との連携や首都圏における広報活動、産学連携事業の推進及び学生の就職活動の拠点としても活用されています。

平成25年度に「鹿屋体育大学東京サテライトキャンパス（筑波大学・鹿屋体育大学連携推進室）」として、筑波大学東京キャンパス文京校舎に移転しました。

INTERNATIONAL EXCHANGE PROGRAM

National Institute of Fitness and Sports 2018

国際交流

本学は、下の地図に示す9つの大学と大学間交流協定を結んでいます。このうち、上海体育学院（中華人民共和国）、韓国体育大学校（大韓民国）、国立体育大学（台湾）の3つの大学と学生交流（交換留学）を行っています。交換留学生は、学内で選考し決定しますが、交換留学の期間は1年以内で、派遣留学生数は1大学につき2名までとなっています。

留学の意義を考慮し、留学先で修得した授業科目等の単位をできる限り本学で取得した授業科目として認定するための取扱いも定めています。

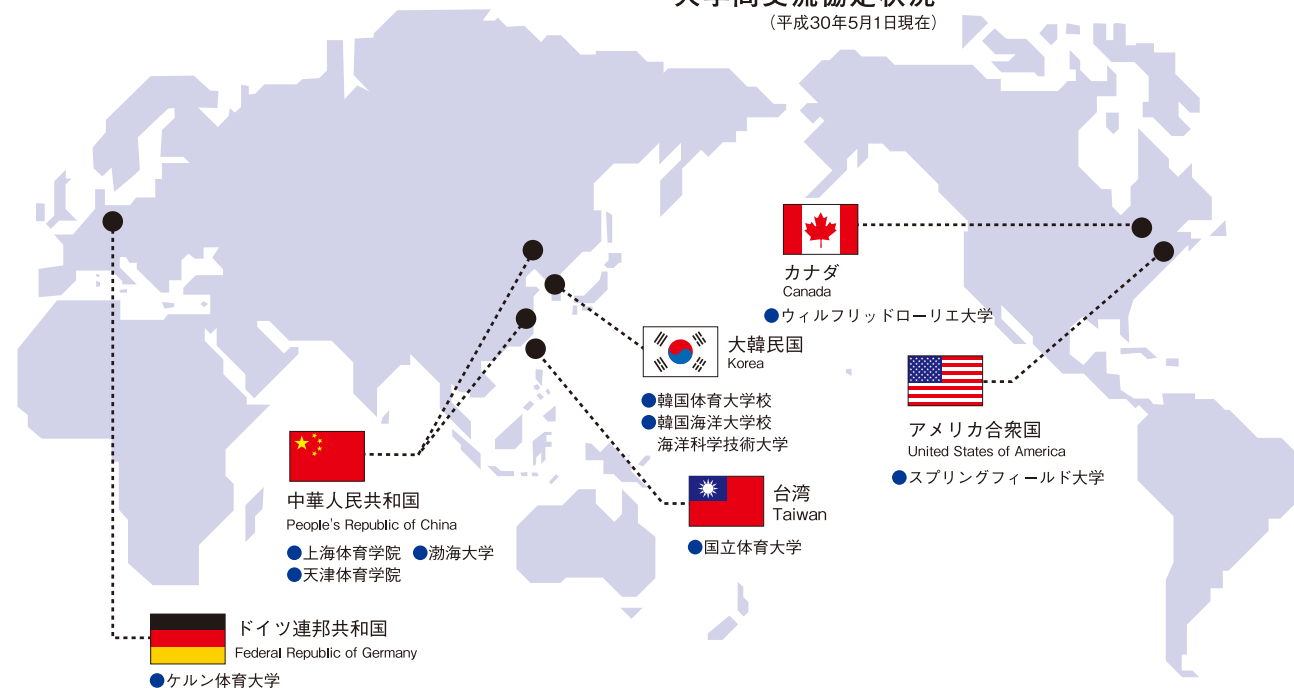
なお、留学先での奨学金貸与を希望する場合は、独立行政法人日本学生支援機構の「第二種奨学金（短期留学）」制度に申し込むことができます。

外国人留学生在籍状況（平成30年5月1日現在） 単位：人

国・地域	学生区分別内訳				計
	大学院生	学部学生	特別聴講学生	研究生	
中華人民共和国	1	2	2		5
台湾			2		2
大韓民国			2		2
アルゼンチン		1			1
エクアドル	1				1
ギリシャ	1				1
バングラデシュ	1				1
計	4	3	6	0	13

※「特別聴講学生」は、交換留学制度により交流協定大学から本学へ留学している学生です。

大学間交流協定状況
（平成30年5月1日現在）



鹿屋体育大学国際スポーツ・アカデミー形成支援事業

本事業は、文部科学省が公募した「スポーツ・アカデミー形成支援事業」に申請して採択された事業で、平成26年度から事業を開始しております。

本事業では、日本を含むアジア諸国におけるオリンピック教育プログラムの開発と、アジア各国にグローバルな人材を育成することを目的としています。その目的の達成に向け、国内外の大学や関係機関と連携し、主にアジア諸国の大学院レベルの学生や、各国のオリンピック委員会からの推薦が得られるトップコーチ、指導者を対象とした短期の国際セミナーを年1～2回開催しています。



海外インターンシップ（トビタテ！留学JAPAN）参加者からのメッセージ

私は、タイのバンコクグラスバレーボールアカデミークラブでインターン生として実習を行いました。留学を通して、スポーツは人と人を繋ぐ国際共通言語であるということを実感でき、このことが、留学をした最大の経験値となったように思います。たくさんの不安を抱えての留学でしたが、飛び込んだことが自分の糧になりました。鹿屋体育大学に入学したことで、幅広い視野でスポーツに携わることができ、自分自身を高めることができたように思います。



緒方 勇氣

Ogata Yuki

体育学研究科修士課程
スポーツ国際開発学共同専攻修了
私立鶴西高等学校出身

私が実習を行ったカナダでは、性別や肌の色など関係なく、学校終わりの子供たちがボールを使った遊びやサッカーなどを楽しみ、運動の中でルールへの遵守や礼儀などを共に学んでいました。また、運動後に一緒に宿題をするなど、運動場面以外での交流にもつながっていました。皆さんもこの「素晴らしさ」をぜひ海外で体験してみてください。



木村 良輔

Kimura Ryosuke

体育学研究科修士課程
スポーツ国際開発学共同専攻修了
東京都立駒場高等学校出身

交換留学参加者からのメッセージ

私は、2017年2月末から1年間、協定校の韓国体育大学校に留学しました。同大は、ソウルにある国立の体育大学で、国際大学スポーツ連盟（FISU）から「世界最高大学」の表彰を受け、平昌冬季五輪での韓国の獲得メダル17個中、13個が大学関係者という環境でした。私は、社会体育学科で、国民のスポーツ参画、平昌冬季五輪・パラリンピック開催における地域開発、産業にもたらす影響などを学び、言語や文化、スポーツの在り方、大学運営などで共通点・相違点が沢山あり、発見の毎日でした。2020年の東京五輪・パラリンピック、鹿児島国体では、韓国での経験を活かしたいと考えています。留学は、刺激的で面白い経験です。皆さんも是非、世界へ踏み出してみてください。

後藤 真奈佳

Goto Manaka

体育学部 スポーツ総合課程3年
東京都立国際高等学校出身

留学生からのメッセージ

鹿屋体育大学はチャンスの宝庫！

私は、2006年に剣道を始めてから、日本文化に興味を持ち、日本で、英語教師として働きながら剣道をしていました。鹿屋体育大学を初めて訪れたのは、国際スポーツアカデミー（詳細22ページ）に参加するためでした。翌年、私は鹿屋体育大学と筑波大学との共同専攻であるスポーツ国際開発学共同専攻修士課程に入学し、剣道が日本で最も強い大学で練習しながら、修士課程で新しい国際的な分野の研究を行っています。これにより、剣道やスポーツに対する情熱をツールとして用い、社会の発展に貢献できると確信しています。

鹿屋体育大学はチャンスの宝庫です！是非鹿屋で勉強してください。私の生き方はいい意味で変わりました。鹿屋では自分の好きなスポーツをしながら、専門の勉強ができます。もしあなたが、スポーツやスポーツに関する国際的な研究に興味があるなら、是非本学へ！きっとあなたの人生を豊かにしてくれます。

ゴメス アラウホ ターニャ ステファニア

Gomez Araujo Tanya Stefania

体育学研究科修士課程
スポーツ国際開発学共同専攻2年
出身国 エクアドル



就職支援

キャリア形成支援室

キャリア形成支援室は、就職やキャリア形成について学生の皆さんをサポートするためのセクションで、以下の設備等を備えており、学年に関係なくだれでも利用できます。

- ☐ インターネットにより就職情報等を検索できるパソコン（2台）（利用時間/8:30～17:15）
- ☐ 求人資料、各種就職専門書・専門雑誌、資格試験雑誌等
- ☐ 貸出用就職関係図書、DVD

また、キャリア形成支援室には、就職相談員を配置し、就職相談に対応しています。相談曜日は原則として水・木となっています。



就職支援事業等（主なもの）

1 年次	☐ キャリアデザインⅠ ☐ キャリアデザインⅡ ☐ インターンシップ事前勉強会 ☐ 教員採用・公務員模擬試験
2 年次	☐ キャリアデザインⅢ ☐ 企業実習 ☐ インターンシップ ☐ 就職活動・採用試験報告会 ☐ 教員採用・公務員模擬試験
3 年次	☐ キャリアセミナー ☐ キャリアコミュニケーション ☐ キャリア対策セミナー ☐ 企業実習 ☐ インターンシップ ☐ 学内企業説明会 ☐ 学外合同企業説明会 ☐ 就活スタートアップ講座 ☐ 自己分析・自己PR作成講座 ☐ SPI対策講座 ☐ グループディスカッション対策講座 ☐ 業界研究講座 ☐ 教員採用・公務員模擬試験
4 年次	☐ 教員採用・公務員模擬試験 ☐ 教員採用試験直前対策 ☐ 教育実習 ☐ 模擬面接 ☐ エントリーシート・履歴書の添削



教員対策・公務員対策

模擬試験を年数回実施しています。また、希望者に対しては、模擬面接も随時実施しています。



就職塾

年数回、休日を利用して外部講師を招いて「就職塾」を開講しています。この企画では、職業選択や自己分析についてアドバイスいただくとともに、履歴書の書き方や面接の心構えについても指導してもらいます。



学内企業説明会

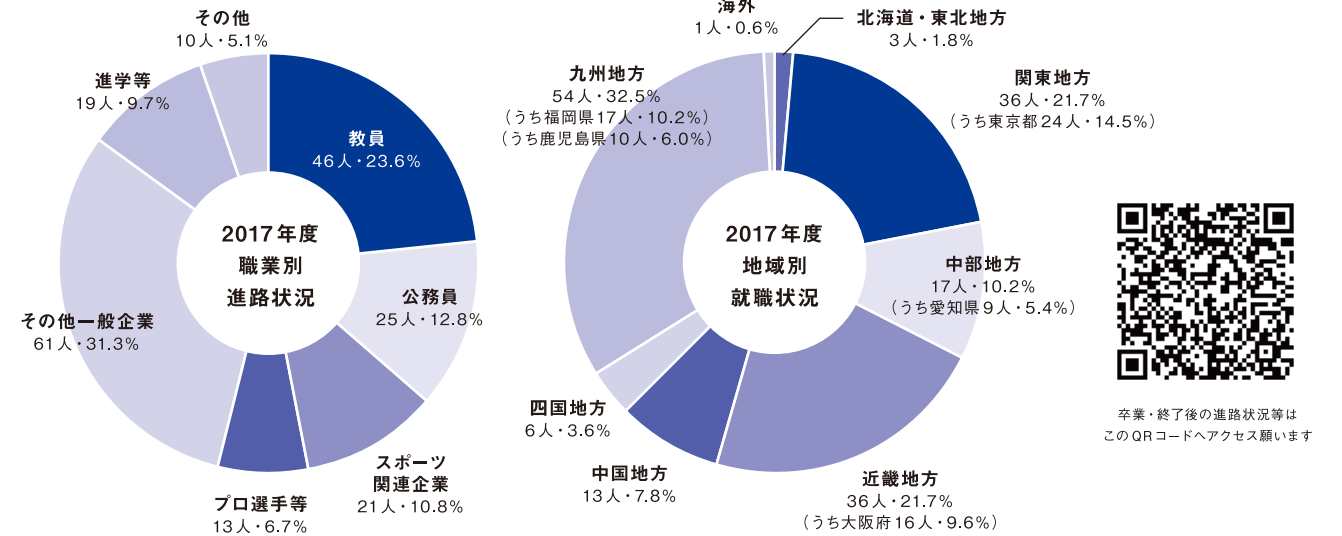
学内にて企業の採用担当者による企業説明会を開催しています。4月には数社合同による企業説明会も実施しています。



合同企業説明会セミナー

年1～2回福岡市で開催される合同企業説明会に、借り上げバスを利用して「日帰りバスツアー」を行います。

就職実績



主要就職先

最近5年間における職種別の主な就職先は、以下のとおりです。

■ 教員（臨時的任用教員・非常勤講師を含む）

北海道、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、東京都、神奈川県、富山県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

■ 公務員

〔行政職〕鹿屋市、坂出市、名護市、桜川市、伊勢崎市、岡谷市、名古屋市、鳥取市、大府市〔警察官〕皇宮警察、警視庁、北海道警、愛知県警、京都府警、大阪府警、兵庫県警、広島県警、福岡県警、佐賀県警、熊本県警、鹿児島県警〔刑務官〕東京拘置所、札幌刑務所、甲府刑務所、岐阜刑務所、奈良刑務所、加古川刑務所、麓刑務所、熊本刑務所、大分刑務所、宮崎刑務所、鹿児島刑務所〔消防士〕東京消防庁、大阪府、一宮市、佐世保市、福岡市、尼崎市、春日井市、広島市〔その他〕陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、自衛隊体育学校、青年海外協力隊

■ スポーツ関連企業

ルネサンス、セノー、ヒマラヤ、本間ゴルフ、FC東京、コナミスポーツ＆ライフ、ミウラ・ドルフィンズ、セントラルスポーツ、広島東洋カープ、カープスジャパン、モンベル、ゼビオ、東大阪スタジアム、太陽スポーツクラブ、THINKフィットネス、ドームヒューマンキャンパス、デサント、松本山雅FC、リーフラス、アシックスジャパン

■ プロ・実業団等の選手

〔サッカー〕サガン鳥栖、Vファーレン長崎、アビスパ福岡、愛媛FC、

ブラウブリッツ秋田、栃木SC、ギラヴァンツ北九州、ホンダロックSC、鹿児島ユナイテッドFC、湘南ベルマーレ、ヴェルスバ大分、ブリオベッカ浦安、〔バレーボール〕久光製薬スプリングス、日立リヴァーレ、PFUブルーキャッツ、黒部アクアフェアリーズ、大野石油広島オイラーズ、フォレストリーヴズ熊本、富士通デンレッドフェニックス、上尾メディックス、トヨタ車体クインシーズ〔バスケットボール〕新潟アルビレックスBBラビッツ、レバンガ北海道、AC播磨イーグレッツ、OTCきくや、山梨クイーンビーズ、紀陽ハートビーズ、鶴屋百貨店〔自転車〕TeamUKYO、宇都宮ブリッツェン、NIPPO VINIFANTINI De Rosa、Ciel Bleu鹿屋、チャンピオンシステム、愛三工業レーシングチーム、KINAN Cycling Team、シマンレーシング〔陸上競技〕資生堂ジャパン、エディオン、デンソー、ナンチク、京セラ

■ その他の一般企業

楽天、高松建設、ANA新千歳空港、長島観光開発、大隅鹿屋病院、河合楽器製作所、日本郵政、ニプロ、JTB、JR九州、伊藤忠エネクス、大創産業、鹿児島テレビ、福岡放送、南日本放送、マイナビ、アイケイケイ、鹿児島銀行、日本生命保険、第一生命保険、SMBC日興証券、セブンイレブン・ジャパン、ゼンショー・ホールディングス、鹿児島空港ビルディング、ジャニーズ事務所、ホリプロ、サカイ引越センター、横浜銀行、京都西川、ANAエアポートサービス、ネットヨタ各店、日本防蝕工業、住友林業、大東建託、スターフライヤー、日本通運

■ 進学

鹿屋体育大学大学院、筑波大学大学院、東京大学大学院、埼玉大学大学院、熊本大学大学院、愛知教育大学大学院、福岡教育大学大学院、九州大学大学院、航空大学校

就職活動体験談

未来は自らの行動次第

私は2年生の冬から就職活動を意識し始めました。悩むことも多々ありましたが、自分のやりたいことに嘘をつかず、キャリア形成支援室や就活イベント等をフル活用し、きちんと準備をしたからこそ、現在になりたい自分・やりたい仕事に辿り着けたと強く実感しています。就職活動は誰もが初めてなので分からないことがあるのは当然ですが、それを払拭するかどうかは自分次第です。未来の自分を決めるのは今の自分だと就職活動を通して学ぶ事ができました。

丸山 ちひろ

Maruyama Chihiro

- 武道課程 ○平成29年度卒業
- 私立埼玉栄高等学校出身
- 勤務先：株式会社カープスジャパン



MESSAGES FROM GRADUATES 卒業生からのメッセージ

National Institute of Fitness and Sports 2018



©SHONAN BELLMARE

日本プロサッカーリーグ 湘南ベルマーレMF

松田 天馬 Matsuda Temma

平成30年3月 体育学部スポーツ総合課程卒業 私立東福岡高等学校出身

感謝！

鹿屋で4年間過ごすことができ本当に良かったと思います。先輩方や後輩、鹿屋の町の方々の支えがあり、一人の人間としてすごく成長することができました。特に、人と人とのつながりの大切さは間違いなくこの鹿屋の町で過ごしたからこそ学ぶことができたと思います。サッカーを問わず、たくさんの人とのつながりができたことは私の一生の財産です。おかげさまでプロサッカー選手になるという目標を達成することができました。

大学の施設や先生方が素晴らしいことはもちろん、鹿屋の一番の魅力は人の温かさだと私は思います。ぜひ、鹿屋という素晴らしい環境で夢に向かって頑張ってください。

自ら考え、自ら実行する力

私は卒業後、放送局へ就職し、現在「グノシー」「ニュースバス」「LUCRA」のニュースアプリを運営する株式会社Gunosyで広告営業をしています。最近では人事と連携し、就活生ともコミュニケーションを取る機会があります。その中で自分の大学生活を振り返った時に、自分は恵まれていたと感じます。それはスポーツや研究など、明確な目的を持って取り組んでいる学生が非常に多いからです。大学で学んでいく中で、これまで経験したことのない壁に何度もぶつかりました。その壁から逃げることなく、自ら課題解決のために何が必要で、どうしたら解決できるのか考え、実行する力を身につける環境が鹿屋にはあります。これはどのような進路を選んだとしても、必要とされる力です。いま私がこうして自分のバリューを発揮できているのは、鹿屋で過ごした4年間があったからだと自信を持って伝えることができます。

株式会社Gunosy
パートナーソリューションズ本部 プレミアム広告セールス部

斉野 洸士郎 Saino Koshiro

平成25年3月 スポーツ総合課程卒業 鹿児島県立志布志高等学校出身

東京オリンピックへの関わり

私は、スポーツメーカーのミズノ株式会社の事業販促部でバレーボールを担当しています。現在は全日本女子バレーボールチームの担当業務も行っておりチームのサポートや選手の細かい商品対応を行い、2020年東京オリンピックでチーム・選手が素晴らしい成績を残してもらい、かつミズノのブランド価値向上を目指し日々働いています。

私がこの業務に携わったきっかけは4年間の大学生活で学んだことが大きかったと思います。それは競技者ではないスポーツへの関わりということを詳しく学べたこと。スポーツには様々な関わり方があることを知ることができました。オリンピックという大きな大会は競技者でしか関わることができないと思っていましたが、競技者ではない私がこの仕事でリオデジャネイロオリンピックにも関わることができました。みなさまも大学生活で様々なことを経験し、自分の可能性を広げてください。

ミズノ株式会社 事業販促部

松永 卓 Matsunaga Suguru

平成15年3月 体育・スポーツ課程卒業 長崎県立大村工業高等学校出身



やりたいことを見つける

現在、私は下関の大学で教壇に立ち、バイオメカニクスやトレーニング概論等を担当しています。

3年次に鹿屋体育大学に編入学した頃は「将来はコンディショニングコーチかトレーナーに...」と思っていました。しかし、卒論や選手兼トレーナーとして部活動に励むうち「もっとスポーツ科学を学びたい」と思うようになりました。気づけば博士課程を修了していました。

鹿屋での濃い学生時代があったからこそ「今」があります。一見ただの田舎に感じますが人も気候もあたたかく、ご飯も美味しく、たくさんの可能性があります。是非、自分の可能性を広げて下さい。

東亜大学人間科学部スポーツ健康学科 講師

杉山 敬 Sugiyama Takashi

平成22年3月 スポーツ総合課程卒業

平成24年3月 大学院体育学研究科修士課程修了

平成27年3月 大学院体育学研究科博士後期課程修了 私立東山高等学校出身

一期一会 ～出会いに感謝～

出会いは素晴らしいものです。いろいろな縁や巡り合わせで人と出会う。全国各地から多くの人が集まる鹿屋体育大学は、それを一番実感できる場所であると思います。

私はこの鹿屋体育大学で素晴らしい先生方、仲間、先輩、後輩と、たくさんの人に支えられて教師になるという夢を叶えることができました。この鹿屋での出会いは私の一生の宝です。

今後も様々な出会いを大切に、「蓑田先生に教わりたい」と言ってもらえるような教師を目指し頑張りたいと思います。

愛知県高浜市立高浜中学校教諭

蓑田 隆幸 Minoda Takayuki

平成30年3月 武道課程卒業 私立星城高等学校出身



EXTRACURRICULAR ACTIVITIES

National Institute of Fitness and Sports 2018

課外活動

本学には、現在、23の体育系課外活動団体と1つの研究会があり、ほとんどの学生が加入しています。

特に、多くの体育系課外活動団体では、全国規模の大会で優秀な成績を収めるなど、活発な活動を展開しています。

課外活動は、学生が自主的に行う活動であり、社会の一員として必要な資質を身に付けたり、教養を高めるなどの大切な役割を担っています。

また、課外活動を通じて得られるさまざまな体験は、学生生活をより充実させ、一生忘れることのできないすばらしい思い出にもなります。

したがって、学生が各自の関心と適性にあった課外活動団体に所属し、より高い専門的知識や技能を身に付けるために積極的に活動することをお勧めします。



課外活動団体紹介



NIFS ブログ

01 陸上競技

部員数：91名(男子63名、女子28名)

練習日・時間：(月・火・木・金)16:00～20:30
(土)9:00～12:30

主な成績：

- 平成22年日本学生陸上競技対校選手権大会
女子多種目優勝校(800m、1500m、棒高跳び、槍投)
- 平成23年日本陸上競技選手権大会 男子砲丸投2位
- 平成29年日本陸上競技選手権大会 男子三段跳3位

陸上競技部は、4名の教員(コーチ)の指導のもと、各競技ブロックに分かれて精力的に活動を行っています。また、部の運営は学生が主体であり、主将・主事が中心となり、34の役職を、部員ほぼ全員で担っています。

02 硬式野球

部員数：50名(男子49名、女子1名)

練習日・時間：(月・火・木)16:10～20:00
(金)15:10～19:00(土・日)8:30～17:00

主な成績：

- 平成30年鹿児島県大学野球春季リーグ戦 優勝
- 第99回九州地区大学野球選手権南部九州ブロック大会 準優勝
- 第3回鹿児島県社会人大学野球大会(H29.7.9) 優勝

「思考する野球」というスローガンの基、鹿屋体育大学が誇る最高の施設と、最新のスポーツ科学技術を利用しながら日々練習に打ち込んでいます。日本一のチームワークを武器に全日本大学野球選手権に出場し、野球界に一石を投じます！

03 テニス

部員数：24名(男子17名、女子7名)

練習日・時間：(月・火・木・金)16:30-19:00(土)9:30-13:00

主な成績：

- 平成29年度全日本大学対抗テニス王座決定試合 男子団体ベスト8
- 平成29年度全日本大学対抗テニス王座決定試合 女子団体ベスト8
- 平成29年度全日本学生室内テニス選手権大会 女子シングルスベスト8

少人数の部活ですが、明るくみんなで一つの目標に向かって取り組んでいる雰囲気のいいチームです。チームの大きな目標としては全国王座ベスト4、全員が個人戦で九州大会本戦出場を掲げ、日々の練習に励んでいます。

04 男子バレーボール

部員数：7名(男子7名)

練習日・時間：(月～金)16:15～19:30(土)10:00～13:00

主な成績：

- 平成29年九州大学ビーチバレーボール大学選手権大会 優勝 鹿屋体育大学A
3位 鹿屋体育大学B
- 平成29年ビーチバレー・ジャパン・カレッジ 第4位 鹿屋体育大学A

男子バレー部は人数がとても少ないものの、1人1人が高い意識を持ち、お互いに切磋琢磨しながら活動しています。インドア、ビーチバレー共に日本一を目指して頑張ります。



05 女子バレーボール

部員数：21名(男子2名、女子19名)

練習日・時間：(火～金)16:15～19:45
(土・日)7:30～11:00、14:30～17:30
※朝練(火～金)6:45～7:15

主な成績：

- 平成22年第57回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 優勝
- 平成25年第60回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 優勝
- 平成28年第63回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 優勝

女子バレーボール部の目標は「インカレ優勝」です。目標達成に向けて部員全員がそれぞれの役割を責任持って果たし、周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、一致団結しながら日々の練習に取り組んでいます。



06 男子バスケットボール

部員数：28名(男子28名)

練習日・時間：(月・木)16:00～19:00(火)18:30～20:30
(金)16:30～20:00
(土)10:00～11:00、13:00～15:00

主な成績：

- 平成23年全日本大学選手権大会 ベスト8
- 平成28年天皇杯 出場
- 平成28年全日本大学選手権大会 ベスト32

「愛し愛されるチーム」という理念の基、全九州大学1部リーグではインカレ出場枠の3位以内、インカレベスト16を目指し活動しています。選手はもちろん学生コーチやトレーナー、ビデオディレクター等の入部を希望しています。



07 女子バスケットボール

部員数：23名(女子23名)

練習日・時間：(月)18:30～21:00(火・水)16:20～19:00
(金)14:30～18:00(土)9:30～13:00
※朝練(火・水)7:00～8:00

主な成績：

- 平成24年度九州総合選手権 優勝(全日本総合選手権出場)
- 平成27年度全日本学生選手権 9位
- 平成28年第82回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権 出場

女子バスケットボール部は、One ball for all All for one ball・それぞれの想いをボールに懸けて・をスローガンとし、「絆をチカラに」をチーム理念に置き、日本一を目標に練習に取り組んでいます。また、練習以外にも「審判」「指導」「運営」といった3つの事にも重点を置いて活動しています。





08 サッカー

部 員 数：94名(男子93名、女子1名)
練習日・時間：(月～金)16:00～18:00
(土)9:30～11:30

主 な 成 績：

- 平成24年度全日本大学サッカー選手権 3位
- 平成25年度全日本大学サッカー選手権 3位
- 平成25年度全日本大学サッカートーナメント 3位

サッカー部は、「勇往邁進」をスローガンに掲げ、学生に多くの試合を積ませることを目的に3チームに分かれて活動しています。また、小・中学生の指導や幼稚園への巡回指導など、サッカーを通じての人間形成と地域貢献を行えるよう活動しています。



09 ラグビー

部 員 数：9名(男子9名)
練習日・時間：(火・水)16:00～19:00(日)10:00～12:00
主 な 成 績：

- 平成14年度九州学生ラグビー1部リーグ 優勝

ラグビー部は、学生リーグ出場を目指して頑張っています。現在は、鹿屋ウオンパツという社会人チームに参加させてもらい、社会人1部リーグで春季、秋季と試合に出場しています。また、7人制の試合には学生のみで鹿屋体育大学として出場しています。



10 体操競技

部 員 数：29名(男子26名、女子3名)
練習日・時間：(月・火・木・金)16:15～20:30
(水)16:15～17:30(土)15:15～19:00

主 な 成 績：

- 平成29年度全日本種目別選手権 男子あん馬優勝
- 平成29年度種目別W杯ハンガリー大会 男子ゆか優勝 あん馬2位 鉄棒2位
- 平成29年度種目別W杯バリ大会 男子あん馬優勝

体操競技部は「至誠通天」をスローガンとし、チーム一丸となり日本一を目指しています。また個々の目標を掲げ、レベルに応じたレベルアップと目標達成のために日々練習に励んでいます。



11 水 泳

部 員 数：36名(男子22名、女子14名)
練習日・時間：(月～金)16:00～19:00(土)8:30～12:00
※朝練(火・木)5:30～8:00

主 な 成 績：

- 2004年アテネオリンピック女子800m自由形 柴田亜依 優勝
- 2005～2008、2012日本学生選手権 女子団体優勝
- 国際大会代表選手 16名

水泳部は、人格形成と競技力向上を目的に活動しています。今年のスローガンは「邁進」で、9月に行われる日本学生選手権に向けて全員がベストパフォーマンスを出せるように日々努力しています。

12 柔 道

部 員 数：59名(男子42名、女子17名)
練習日・時間：(月・火・木)16:20～20:00(水)16:20～19:00
(金)16:20～19:30(土)9:00～12:00
※朝練(月・火・木・金)6:30～7:30

主 な 成 績：

- 平成29年九州学生柔道優勝大会 女子5人制優勝 男子準優勝
- 平成29年全日本学生柔道体重別選手権大会 男子100kg・女子78kg 3位
- 平成27・25年講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 男子66kg優勝 女子48kg優勝

柔道部は人間形成と競技力向上に重きを置き、男子平崎主将・女子飯野主将を中心に「不撓不屈」の精神で日々厳しい稽古に励んでいます。部のスローガンでもある「地方から日本一、鹿屋から世界へ!」を実現するべく部員一丸となり精進していきます。



13 剣 道

部 員 数：131名(男子94名、女子37名)
練習日・時間：(月～木)16:30～18:30
(金)16:00～17:30(土)9:00～12:00
※朝練(火・木)6:50～7:30

主 な 成 績：

- 平成29年 全日本学生剣道優勝大会 男女準優勝
- 平成29年 全日本学生剣道選手権大会 男子個人優勝、女子個人準優勝
- 平成29年 全日本剣道選手権大会 ベスト8(優秀選手賞)

学内最大規模の部員数を持つ剣道部は大学四年間を「剣道の理念」に基づいた修行として捉え、男女ともに大学日本一を目標として、鹿屋体育大学の伝統である「三段稽古」を中心に鍛錬、日々の稽古に励んでいます。武道の一つである剣道の専門知識や技術を学び、且つ、大隅地域の少年剣道への指導や大会の審判としての活動を通して実技指導力も身につけています。



14 ヨット

部 員 数：12名(男子8名、女子4名)
練習日・時間：(月・火・木・金)16:15～18:30
(土・日)8:30～18:00

主 な 成 績：

- 平成27年全日本学生ヨット選手権記念大会 スナイプ級優勝
- 平成29年全日本学生女子ヨット選手権大会 470級8位

チーム目標は、全日本インカレスナイプ級入賞です。スローガンは「探求・勝つための方法・速くなるための方法を探し求める」です。部員一丸となって明るく活動し海を楽しんでいきたいと思っています。



15 漕 艇

部 員 数：8名(男子5名、女子3名)
練習日・時間：(月～金)16:00～20:00(土)8:00～17:00
主 な 成 績：

- 第44回全日本大学選手権大会 男子クォドルプル 準決勝進出
- 第44回全日本大学選手権大会 女子シングルスカル 第5位
- 2017 Asian Rowing Junior Championships 女子ダブルスカル 第2位

漕艇部は、全員がインカレでA決勝に進出しメダルを取ることを第一の目標とし、全日本選手権でも入賞を目指しています。部の雰囲気は、とても明るく賑やかです。お互いを刺激しあって、日々トレーニングに取り組んでいます。





16 自転車競技

部 員 数：32名(男子27名、女子5名)
練習日・時間：(火～金) 16:00～18:30(土・日) 9:00～17:00
※朝練(火～金) 6:00～8:30
主 な 成 績：

- 平成27年世界トラック選手権(パリ) 女子ポイントレース 銀メダル
- 平成28年リオデジャネイロ五輪 関係者2名卒業
- 平成28年全日本インカレ 男女総合優勝
(男子：4年連続4回目、女子：2年連続13回目)

世界を相手に活躍できる選手を輩出すること、日本で自転車競技をメジャーにし、未来の自転車界を支える人物を育成することをモットーに日々活動しています。温暖な気候を生かして1年中充実したトレーニングが出来るとともに、大学の研究設備を用いた科学的トレーニングも積極的に取り入れています。



17 カヌー

部 員 数：20名(男子17名、女子3名)
練習日・時間：(月～金) 16:00～20:00(土) 8:00～17:00
主 な 成 績：

- 平成29年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会
男子カヤックペア200m優勝
- 同上 女子カヤックシングル200m2位、3位
- 第53回全日本学生カヌースプリント選手権大会
男子カナディアンシングル1000m2位

カヌー部は、国際大会での日本代表として活躍すること、全日本学生選手権優勝が大きな目標です。また、自己の鍛錬はもとより、団体活動の中で個性を生かしつつ、部の発展に寄与していくことで、より高い人格の形成を目指しています。



18 なぎなた

部 員 数：7名(女子7名)
練習日・時間：(月～木) 16:00～19:00(土) 9:00～12:00
主 な 成 績：

- 平成27年度第54回全日本学生なぎなた選手権大会
団体試合の部 優勝 個人試合の部 優勝
- 平成28年度第55回全日本学生なぎなた選手権大会
団体試合の部 優勝 個人試合の部 第3位 演技競技の部 第3位
- 平成29年度第56回全日本学生なぎなた選手権大会
団体試合の部 優勝 個人試合の部 第3位

なぎなた部は、専門の指導者がいない中で、一人一人が高い意識を持ち、お互い切磋琢磨しながら稽古に励んでいます。今年度も部員全員が成長していけるような環境をつくり上げ、インカレ団体4連覇を目指して精進していきます。



19 セパタクロー

部 員 数：10名(男子10名)
練習日・時間：(月・水・金) 14:00～21:00(火・木) 15:00～20:00
(土) 14:00～20:00
主 な 成 績：

- 平成21年度全日本学生セパタクロー選手権 男子 3位
- 平成27年度全日本ビギナズカップ 男子 準優勝
- 平成28年度全日本セパタクロージュニア選手権大会 ベスト16

セパタクローは、空中の格闘技とも呼ばれ、アクロバティックな動きが特徴です。日本では、大学から始める選手がほとんどで、競技歴が短くても日本代表に選ばれる可能性も大いにある競技です。全日本大会優勝、日本代表選抜を目指して日々、切磋琢磨しています。

20 ウインドサーフィン

部 員 数：11名(男子7名、女子4名)
練習日・時間：(火・木・金) 16:15～19:00
(土) 9:00～17:00(日) 10:00～16:00
主 な 成 績：

- 2017RS:Xウインドサーフィン世界選手権 出場
- 平成29年全日本学生ボードセーリング選手権(個人戦) 5位

毎日練習できる立地、錦江湾の綺麗な海は、他の大学には無い環境です。ウインドサーフィンは、海の上を滑走でき、この爽快感は他の競技では味わえません。沖縄・和歌山で開催される全日本インカレに向けて入賞目指して取り組んでいます。



21 アスレティックトレーナー

部 員 数：23名(男子16名、女子7名)
練習日・時間：(水) 20:00～22:00
主 な 成 績：

アスレティックトレーナー部は、様々な課外活動団体に所属している学生で構成されています。週1回の勉強会に加えて各課外活動団体での実践を普段から心がけるとともに、優秀な選手やトレーニング設備等が数多くあるなど本学の多くの利点を生かしていくことを目指しています。



22 ゴルフ

部 員 数：3名(男子3名)
練習日・時間：(月・水・金) 16:30～18:30(土) 8:30～18:30
主 な 成 績：

- 平成23年度ドラコン日本選手権 出場
- 平成24年度鹿児島県大学ゴルフ選手権 4位

ゴルフ部は、ゴルフを通じた人とのつながりを大事にして、楽しくプレーすることをテーマに活動しています。大学内には、奥行き140ヤードの練習場があり、週末にはコースでの練習、ラウンドもでき、練習環境はとても充実しています。人数が少ない中でも精一杯活動して頑張っています。



23 ダンス

部 員 数：12名(男子10名、女子2名)
練習日・時間：(月・火・木・金) 16:00～19:00(日) 14:00～17:00
主 な 成 績：

- アーティストック・ムーブメント・イン・トヤマ2017 出場
- 第8回Dance・夢・交流 出場

ダンス部は、現代的なリズムのダンスから創作ダンスまで幅広いジャンルで活動しています。2018年は、全日本の大会であるダンスフェスティバル(神戸)への出場を目指し、日々練習を積んでいます。ダンスを楽しみたい人が集まり、部員同士の仲も良く、明るく楽しく活動中です。



STUDENT DORMITORIES

National Institute of Fitness and Sports 2018

学生宿舎

学生宿舎紹介

学生宿舎は、大学敷地の一角に位置し、1棟70名収容の建物を5棟設けています。部屋はすべて個室(約6畳)で、収容人員は350名(男子280名、女子70名)、現在、在学生全体の約4割の学生が入居しています。棟内は、居室のほか、各階に共用施設として補食談話室、洗面、洗濯室、浴室、トイレ等があります。

寄宿料等は、1ヶ月当たり13,800円(寄宿料4,300円、運営費6,500円、居室電気料3,000円)です。規則正しい生活を送ることができるように、学部1年生から3年生については学生食堂での朝食摂取を入居の条件としています。

朝食代: 年額70,290円(平成29年度実績)、年度当初に前納(理由がある場合は、事前の欠食届提出により返金)

寝具類(掛・敷布団、毛布、枕、シーツ及びカバー)は、衛生管理面を配慮して入居者全員分を大学指定の業者からリースしています。消耗品(トイレトーパー、指定ゴミ袋、ゴミ袋、食器用スポンジ・洗剤、居室用蛍光灯)は入居者から徴収している運営費で購入しており、管理人室で払い出します。



居室
居室は、すべて個室(洋室)になっています。広さは約10㎡(長方形で約6畳)です。



学生宿舎 Q&A

Q. 入居選抜方法について

A ■ 新入生においては、(1)学生宿舎生活の支障の有無、(2)自宅から大学までの距離及び交通手段、(3)家庭状況及び経済状況、について勘案して選考を行います。加えて2年生からは、各種宿舎行事への出席状況や、日頃の生活態度なども審査対象になります。学生宿舎の入居許可期間は1年間(4月～翌年3月)ですので、入居後も毎年度選考を行います。

Q. 自動車の乗り入れについて

A ■ 学生宿舎には約150台分の入居者用駐車場があります。駐車場の利用は許可制ですので、学生宿舎管理人室で駐車場の空き状況を確認し、申請書類を提出することで利用できます。なお、学生宿舎から大学へ自動車で通学することはできません(大学と隣接しているため、徒歩で通学可能です)。

Q. 周辺アパートについて

A ■ 大学周辺には学生向けアパート等が点在しており、家賃は、地域、部屋の設備等により異なりますが、6～8畳のキッチン、バス、トイレ付きで、25,000円～40,000円程度です。大学から5kmほど離れた西原地区は、家賃相場が多少上がりますが、スーパー、コンビニ等が大学周辺より多く生活至便です。

CAMPUS LIFE

National Institute of Fitness and Sports 2018

学生生活

学生宿舎利用者



自転車競技部 Tさん(男子) 自転車1分

■1カ月の収入	■1日の流れ
仕送り.....100,000円 計.....100,000円	5:00 起床 6:00 軽食・朝練準備 7:40 朝練 8:30 朝食・登校準備 11:40 授業 13:00 昼食 16:00 授業または空き時間 (自主学習・個人練習など) 18:00 課外活動 20:00 夕食・買い物など 22:00 自主学習・就寝準備など 就寝
■1カ月の支出	
寮費.....4,500円 食費.....32,000円 交通費.....8,000円 光熱費.....9,500円 部費.....20,000円 貯金.....5,000円 交際費.....10,000円 通信費.....3,000円 (携帯・ネット利用料金等) 日用品.....5,000円 雑費.....3,000円 計.....100,000円	

寮は大学の敷地内にあり、お風呂・台所・洗濯機などは共用で譲り合い助け合いながら生活しています。鹿屋体育大学には全国・世界で活躍している人が数多く在籍しており、毎日刺激をもらっています。授業を真剣に受けるのはもちろんですが、週6回の課外活動にも力を入れています。休日にはカフェに行ったり、観光地巡りをしたりしてリフレッシュしています。学業と課外活動を両立し、世界を目指して充実した大学生活を送っています。

アパート・マンション利用者



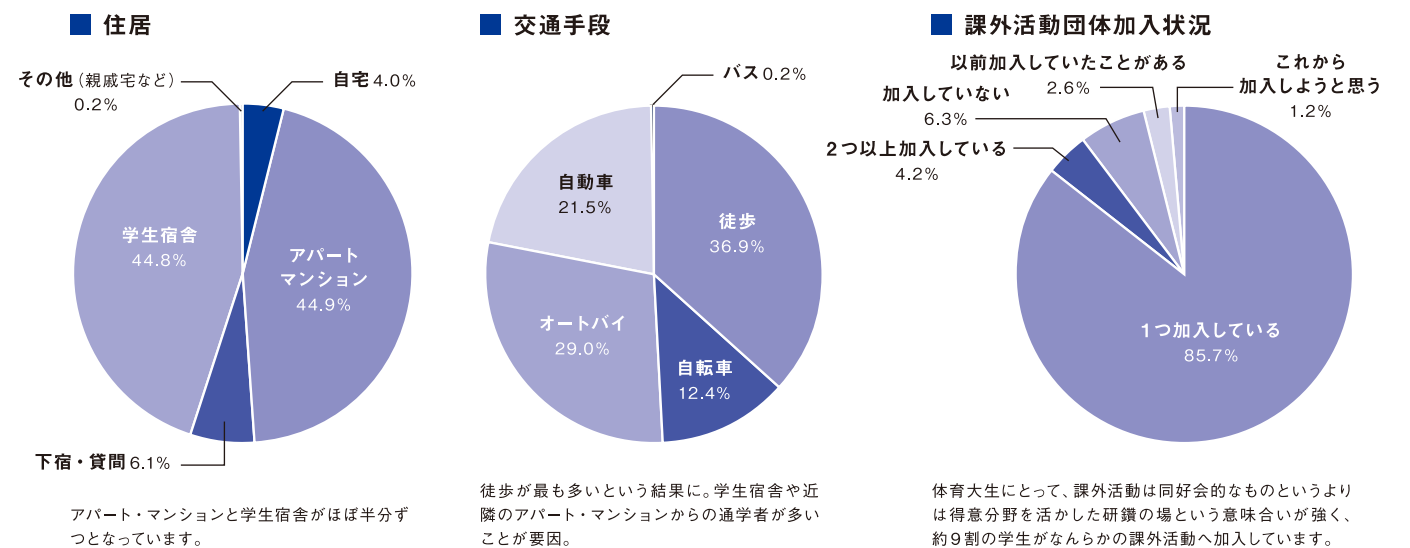
ダンス部 Kさん(女子) 徒歩3分

■1カ月の収入	■1日の流れ
アルバイト代.....20,000円 仕送り.....94,000円 計.....114,000円	7:00 起床 8:30 朝食・登校準備 11:40 授業 12:40 昼食(学食) 16:00 授業 19:00 課外活動 20:00 夕食・就寝準備 24:00 自主学習・自由時間 就寝
■1カ月の支出	
家賃.....48,000円 食費.....25,000円 交通費.....5,000円 光熱費.....7,000円 部費.....500円 貯金.....10,000円 交際費.....5,000円 日用品.....5,000円 雑費.....8,500円 計.....114,000円	

私のアパートは、平日朝夕食事付きで、栄養バランスを考えた多彩な献立が提供されます。疲れて帰って来ても温かいご飯がすぐ食べられます。友達と一緒に、鍋をしたりレポート課題をしたり、毎日が充実しています。また同じアパートには体大生も多いのでコミュニティがあり学年を超えた情報交換も可能ですし、大学から近いいため、空き時間やお昼ご飯のために一度アパートに戻るのも容易です。最初は一人暮らしに不安もありましたが今は大学生生活を十分に満喫しています。

データで見る体大生の学生生活

(第10回学生生活実態調査報告書より)



COMMUNITY SERVICE FACILITIES

National Institute of Fitness and Sports 2018

福利厚生

キャンパス内には、学生・教職員の健康の保持・増進を図るための施設として「保健管理センター」があるほか、福利厚生に資するため食堂、売店、理・美容室、ATMなどがあります。また、学生の憩いの場として「学生ラウンジ」を設け、学生相互のコミュニケーション等に利用されています。



保健管理センター

保健管理センターは、学生及び教職員の保健管理に関する専門的業務を行い、心身の健康の保持増進を図るための施設です。ここでは、通常医師及び看護師が在室し、学内で発生したケガ等に対する応急処置、健康及び精神衛生に関する相談・助言並びに保健指導のほか、定期健康診断等もおこなっています。また、リハビリテーションに必要な機器も最小限度備えてあり、リハビリを行うこともできます。



学生食堂

食堂は明るく開放感があり、多くの学生が利用します。朝食はバイキング方式で朝練後の学生や授業に向かう学生で賑わいます。また、昼食はアラカルト方式になっており、お好みのメニューを選ぶことができます。このほか、日替り丼やカレー、うどん、ラーメンなどがあり、日替り丼はボリュームがあって人気です。



学生ラウンジ

売店

理・美容室

ATM

合宿研修所

ロッカー室

学費 SCHOOL EXPENSES

入学科等 (平成30年度実績)

区 分		金 額	納 入 時 期
入学科		282,000円	入 学 手 続 時
授業料	前 期	267,900円	4月30日まで
	後 期	267,900円	10月31日まで
その他経費 (各種保険料等)		74,700円	入 学 手 続 時

学費の免除

1. 入学科免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者 (学資負担者) が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより入学科の納付が著しく困難であると認められる者は、願い出により入学科の全額又は半額が免除されることがあります。(大学院生は経済的理由で申請可)

2. 授業料免除

次に該当する者は、願い出により授業料の全額又は半額が免除される事があります。

- ① 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者
- ② 入学前1年以内において、学費負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けた者

3. 入学科特別免除

入学前の競技成績 (大学院の入試成績) の特に優れた者に対し実施します。AO (SS) 入学者は全員、推薦入試入学者は競技成績により選考。(申請不要)

4. 授業料特別免除

在学中の競技成績又は学業成績の特に優れた者に対し実施します。(申請不要)

傷害保険 CASUALTY INSURANCE

教育研究活動中の不慮の災害事故の補償や、課外活動中・往復中の事故の補償のほか、他人への賠償等のために、次のような各種傷害保険を準備しています。なお、学部学生は、入学時に学生教育研究災害傷害保険及びスポーツ安全保険に全員加入しています。

学生教育研究 災害傷害保険	保険料：3,300円（4年間）1,750円（2年間）
学生が体育実技や実験実習等の正課の授業中、学校行事、課外活動中等、教育研究活動中の事故や通学中等の事故によって被った傷害に対して、補償する制度。本学では、学生が安心して学業に励むことができるように入学期に全員加入いただいています。	
スポーツ安全保険	保険料：7,400円（4年間）3,700円（2年間）
課外活動団体等でスポーツ活動、指導活動等を行う者がその活動中や往復中に生じた事故によって傷害を被った場合や他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして損害賠償を負った場合、補償する制度。本学では、学生が安心して課外活動ができるように入学期に全員加入していただきます。	
傷害総合保険	保険料 自宅__41,000円 寮・アパート__49,000円（4年間） 自宅__22,000円 寮・アパート__26,000円（2年間）
学研災付帯 学生生活総合 保険	保険料（4年間） 自宅A__56,610円 一人暮らしD__62,600円 自宅B__41,220円 一人暮らしE__47,210円 自宅C__36,790円 一人暮らしF__42,780円
	教育研究活動中のみならず日常生活で生じたさまざまな事故に対して、総合補償する制度。損害賠償制度や学費・育英費用にも対応しており、加入は、任意となっています。

※平成30年4月現在

経済支援 ECONOMIC SUPPORT

鹿屋体育大学修学支援基金

寄付金及びその運用により構成される「鹿屋体育大学修学支援基金」を創設し、経済的理由により修学が困難な学生の支援を行っています。

- ① 授業料、入学科又は寄宿料の全部又は一部を免除する事業
- ② 学資金を支給する事業
- ③ 学生の留学に係る費用を負担する事業 等

特別奨学金 (本学独自の奨学金)

学資負担者の死亡・失職等の理由により、経済的に著しく困窮し、かつ修学態度が良好である学生に対して、「特別奨学金 (20万円)」を給付します。

日本学生支援機構

① 第一種奨学金 (無利子)

人物・学業ともに特に優れたかつ健康であって、経済的理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。

② 第二種奨学金 (有利子)

人物・学業ともに優れたかつ健康であって、経済的理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。

③ 入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)

日本政策金融公庫の教育ローンを低所得を理由に受けられなかった世帯向け。人的保証制度に代わる機関保証制度により、保証人がいない場合でも一定の保証料を支払うことにより奨学金を貸与されることがあります。

鹿屋体育大学 日本学生支援機構奨学生数一覧

学 部						
入学年度	学生数 a	一種	二種	併用 (一種+二種) 内数	貸与 人数 b	貸与 人数 b/a
26	192	53	75	13	115	60%
27	198	50	76	15	111	56%
28	174	48	68	16	100	57%
29	185	48	57	13	92	50%
合計	749	199	276	57	418	56%
大 学 院						
入学年度	学生数 c	一種	二種	併用 (一種+二種) 内数	貸与 人数 d	貸与 人数 d/c
26	—	—	—	—	—	—
27	9	5	0	0	5	56%
28	24	10	2	2	10	42%
29	26	11	1	0	12	46%
合計	59	26	3	2	27	46%

注) 地方公共団体や民間の育英奨学事業団体等の奨学金もあります。

National Institute of Fitness and Sports 2018

ENTRANCE EXAMINATION INFORMATION

National Institute of Fitness and Sports 2018

入試情報

平成30年度入学者選抜実施結果

スポーツ総合課程

単位：名

区 分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
AO(SS)入試	10	10(4)	10(4)	10(4)	10(4)
推薦入試	50	81(27)	81(27)	50(17)	50(17)
一般入試	60	250(53)	236(52)	68(11)	65(11)
特 別 入 試	帰 国 子 女	若干人	2(0)	2(0)	1(0)
	社会人	若干人	2(0)	2(0)	1(0)
私費外国人留学生入試	若干人	2(0)	2(0)	2(0)	2(0)
計	120	347(84)	333(83)	132(32)	129(32)
第3年次編入	20注1)	45(5)	45(5)	20(2)	19(2)

() は、女子で内数。 注1) 第3年次編入学の募集人員は、スポーツ総合課程と武道課程と共通。

武道課程

単位：名

区 分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
AO(SS)入試	5	5(3)	5(3)	5(3)	5(3)
推薦入試	20	21(8)	21(8)	20(7)	20(7)
一般入試	25	40(7)	36(7)	29(5)	26(3)
特 別 入 試	帰 国 子 女	若干人	0(0)	0(0)	0(0)
	社会人	若干人	0(0)	0(0)	0(0)
私費外国人留学生入試	若干人	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計	50	66(18)	62(18)	54(15)	51(13)
第3年次編入	20注1)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)

大学説明会及び体験授業（鹿屋体育大学白水キャンパスで開催）

■大学説明会

第1回 | 平成30年7月14日(土) 10:20～16:00

第2回 | 平成30年10月13日(土) 10:20～16:00



本学の特色や教育・研究の内容について理解を深めてもらうとともに、施設見学等により、進路選択の参考としてもらうために次のとおり実施します。受験生、保護者、高校の先生方など多数の参加をお待ちしています。

①在学生からのアドバイス ②質疑応答 ③実験、実習体験を含む施設見学 ④大学案内・入試資料・記念グッズ配付

■体験授業

本学の教育・研究内容を少しでも知っていただくために、高校生受験希望者（保護者を含む）を対象に次のとおり体験授業を企画いたしました。多数の参加をお待ちしています。

実施日 | 平成30年7月15日(日)

A	科 目 名	Enjoying Sports English Games		
	担 当	国重 徹・David Elmes	時 間	9:00～10:10 (70分)
	授業内容	体育大学にピッタリの、スポーツに関するゲームを通して楽しく英語を使ってみましょう！		募集人員 36名
B	科 目 名	体力トレーニング - 筋力を高める方法を体験しよう -		
	担 当	瓜田 吉久	時 間	10:30～11:40 (70分)
	授業内容	筋力を高める方法について、ウエイトトレーニングを題材にいろいろ体験してみよう。		募集人員 20名



東京サテライトキャンパスでの大学説明会（所在地：東京都文京区大塚3-29-1）

- 第1回 平成30年 5月20日(日)
- 第2回 平成30年 6月17日(日)
- 第3回 平成30年 8月11日(土)
- 第4回 平成30年 8月12日(日)
- 第5回 平成30年 11月 4日(日)
- 第6回 平成31年 2月 2日(土)
- 第7回 平成31年 3月17日(日)



※時間はいずれの回も13時(受付)～16時30分 ※日程は変更になることがあります。

詳細については、本学ホームページをご覧ください。



トップページ



研究者の紹介

鹿屋体育大学のホームページを解説しています。学部・大学院の詳しい内容やキャンパスライフ、入試情報などをお知らせします。

<https://www.nifs-k.ac.jp/>

平成30年度
出身地別入学者数
(出身高等学校等所在地による都道府県別内訳)
合計180(45)
(第3年次編入学者は除く)
※()内は女子で内数

平成30年度
出身地別在学者数
(出身高等学校等所在地による都道府県別内訳)
合計768(192)
(平成30年4月現在在籍者全員)
※()内は女子で内数



平成31年度入学者選抜

選 抜 方 法

次の選抜方法により実施します。

- AO(SS)入試*
- 推薦入試
- 一般入試
- 帰国子女入試
- 社会人入試
- 私費外国人留学生入試
- 第3年次編入学試験

*SSとは、スーパー・スチューデント (Super Student) の略で、競技能力の特に高い者を指します。

選 抜 方 法 の 概 要

平成31年度入学者選抜要項は平成30年7月配付予定です。

選 抜 要 項 の 請 求

封筒の表に「平成31年度選抜要項請求」と朱書きし、返信用封筒（角形2号封筒に宛名明記・140円切手を貼付）を同封の上請求してください。

請 求 先

〒891-2393
鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学教務課入試係
TEL(0994) 46-4869



テレメール



モバっちょ

RREGIONAL CONTRIBUTION & UNIVERSITY-COMMUNITY RELATIONS PROJECTS

National Institute of Fitness and Sports 2018

鹿屋体育大学では、大学のもつ人的・知的資源、施設・設備等を活かし、様々な地域貢献・社会連携等の取組を行っています。学生が主体的に関わるものも多く、貴重な学びの場にもなっています。ここでは本学が行っている主な取組をいくつか紹介します。

地域貢献・社会連携

スポーツボランティア

地域の子どもの体力低下、運動部離れ、スポーツ指導者の不足、さらに中・高齢者の運動不足の解消や健康づくりのために、鹿屋市とその関連団体である総合型地域スポーツクラブと連携し、学生ボランティアが地域の学校やスポーツ団体等においてスポーツ指導（指導補助）を安全で円滑にできるように支援しています。



鹿屋市・垂水市との連携



教育・文化・スポーツの振興、健康及び福祉の充実、まちづくり、地域産業の活性化、生涯学習の推進などで包括連携協定を結んでいます。主な取組として、鹿屋市との「スポーツ合宿まちづくり推進事業」、垂水市のマリンスポーツ施設整備計画への参加・協力等を行っています。

【PICK UP】スポーツ合宿まちづくり推進事業

鹿屋市及び民間団体と連携して実施しているプロスポーツ選手の自主トレ等を誘致する事業。本学では、主に、専門機器・施設を用いたスポーツ科学的な動作測定や身体能力測定、栄養学的な観点からの食事のアドバイス、トレーニング場所の提供等で、アスリートのパフォーマンス向上に寄与しています。



公開講座

例年、本学の強みを生かしたスポーツ講座（マリンスポーツ、バスケットボール、バレーボール）や健康講座（水中運動教室）、英語の講座など、15講座ほど開講しています。講座によっては、地域の方々だけでなく離島や県外からも多くの参加があります。また、2020東京五輪・パラリンピックへ向けた講座、鹿児島県民大学との連携講座、東京サテライトキャンパスでの講座なども開設しています。

国立大隅青少年自然の家との連携

相互の人的・知的資源の交流と物的資源の活用によるスポーツ体験活動等を通じた社会貢献及び教育研究分野の発展に資するための連携・協力事業を行っています。例として、おおすみくんちスポーツキャンプでの本学学生による指導・測定などが挙げられます。



貯筋研究プロジェクト

近年大きな社会問題である日本人の体力・運動能力の低下現象に対し、「動ける日本人育成」を目指して、子どもから老人までの生活フィットネス（生活機能）アップのための“家庭でできる筋力トレーニングプログラム”を作成し、鹿屋体育大学モデル「NIFSみんなの貯筋研究プロジェクト」として国内外へ広くその振興を図っています。



学長杯の開催

学長杯として、例年、海洋スポーツセンターでのオープンヨットレース、薩摩の伝統遊戯である破魔投げ大会、大隅地区の子ども達を対象にしたサッカー大会を開催し、一般市民のみなさんへスポーツとふれ合う機会を提供しています。



高須小学校ヨット学習との合同授業

「競技スポーツ論・実習Ⅱ・Ⅲ—海洋スポーツ」の授業の一環として、鹿屋市立高須小学校児童へのヨット学習指導を行っています。大学生は授業の中で指導プログラムを準備し、ロールプレイング形式の演習を経た後、指導者として高須小学校の児童に対するプログラムを実践展開します。ロープワークに関する講義のほか、対象児童の学年に合わせて磯遊びやカヌー・ヨットの体験乗船、操船学習などを行います。高須小学校にとっては、海岸地域にある学校の「特色ある学校作り」を目指した授業の一環となっています。



各課外活動団体の取組

各課外活動団体で、地域の小中高生等を対象とした競技会やスポーツ教室を開催したり、地域の学校での巡回指導を行ったりしています。また、自治体等が主催する競技大会での審判活動や運営補助、各種スポーツ教室での指導補助を行うなど、積極的に社会・地域貢献活動に取り組んでいます。



鹿屋体育大学・財宝産学連携寄附研究講座

平成28年度より、本学と株式会社財宝の産学連携により、本学スポーツパフォーマンス研究センターを使ったスポーツパフォーマンス研究、健康運動プログラム研究などの支援を目的とした「鹿屋体育大学・財宝産学連携寄附研究講座」を開設しています。



スポーツリフレッシュセミナー

本学が鹿児島県教育委員会との共催により、中学校、高等学校、特別支援学校の保健体育担当教員及び運動部活動指導者並びに競技団体の競技力向上担当指導者を対象に、競技力向上を担う指導者としての資質向上を図ることを目的として、体育・スポーツ及び健康に関する専門的研究や最新のトレーニング法の研修を実施しています。

他にも、教員免許状更新講習やパワーアップ研修などで本学の特色を活かした講座等を開設。教員や指導者の資質向上に寄与しています。